無画路の終點照凱

樹木の茂る江岸には

鐵條網を張廻して

教會の跡に見張所

満洲國内は勿論世 大平原の中を流れ

總局に轉勤 拉濱線從業員 交渉の要表



脚馬に頻附され散設甲であるが、 に伴か施行敷合家は内移省より法 は内移省より法

選舉法勅令案

治代喜 本橋 人姆湖 盛 代 村 本 人嗣即 地名 · 卅町閩公東市運火 证银日油湖 社會式株 所行養

段落

赤軍の動き頻繁

東京二十三日後國通 二十二日 の政友会認称武は政府に對し農村 の質問に照し緊急對策を譲するため 解時態会の召集を要求する事を が減したが、政府側では政友会よ

臨時議會不召集

政府首腦部の眞意

最近黑龍江方

面にて

る方針の如くてある る方針の如くてある る方針の如くてある の対象を決策に違って来る事で をの対象を決策に違って来る事で をの対象を決策に違って来る事で の方針の如くてある。 の方針に関リ臨時議会音楽の要求があればこ

▲ 清村常次哪中佐(滿繼囑託將校) ◆ 前七時四十分著列車で浉連 ・ 華和一智氏(滿繼班事)二十三日

お客さまな送り出して都屋へ舞りまか出いてゴロッと横になつてしまふ山間を見て」標注は優しくさまの人は、結局、根からの意

語語 を では、この を して なる ちもい ないつが 根を 卸して る る ちもい よー かが 根を 卸して る る ちもい まー かかが 根を 卸して る る ちもい まー かが 根を 卸して る る ちもい

▲安田靖一氏(滿綴水道調查所長)

十分大連潘外看の豫定

なすつたのよ、あなた?」

田專太郎

島政二郎

(96)

串

経て三江口方面へ向っ ・同日口徳十種以上の ・同日口徳十種以上の ・同日口徳十種以上の ・同日の一種十種以上の

傍系事業審查

委員會

□ 上陸連 (大連市會議長) 同 そのここが心髪で、網浜は心の脳に、大連市會議長) 同 そのここが心髪で、網浜は心の脳に下降し、大連市會議長) 同 そのここが心髪で、網浜は心の脳に下になると、流谷に 大陸連 (大連市會議長) 同 そのここが心髪で、網浜は心の脳に下されると、流谷に (大) というに (大) に (大) というに (大) というに (大) に (大) というに (大) に (大)

は、自分でも炒ってしまはう にはしてあるんだがれ。毎日、同 のお客さまを総してあるさ、いつ のお客さまを総してあるさ、いつ

其他皮膚病性

「刈つてお仕舞ひなさいよ」

岡田首相

滿洲國訪問淮

谷參事官が會

見の際

以下各委員参集のうへ重役登議会工十三日午前九時から竹中委員長

▲高久肇氏(巌嶽北平事務所長) 二十三日あめりか丸にて來連 長)二十三日天津丸にて來連 「一十三日天津丸にて來連

下いや、例の製の病症が起つたん いた。 自除りだらうが、四五日目 でいや、例の製の病症が起つたん

生しやがるんだよし

依つて急速的に問題を解決すべく確機能に乗出す事さなった

によれば、共産熊帝願紙とユーマ

我大使館前で

田首様を輸見の際適常の機會に省。四點の事態は對理医確であるは二十二日午後在滿機關問題で聞。機器されたもま希望も邀言したが、東京特體二十三日襲』符参事官一様が滿洲國を訪問も理地の管験を

を ・ 変、更に八木総事の手で家を練り 大崎委員會に群上程することにな

▲胡宗瀛氏(満洲國財政部総書料師)同上歸任 ルン司上部任 (帝國海事協會技

「何?御病就つて?」

てスタデオ(撮影器)は、職が遺

部江は瀧島を吐いた。

た前製せる、本朝の主要は

生活せる細胞或は微い

日人港あめりか丸で来連 ◆ 山崎一芳氏 (資業之世界總務) 同上

像主一氏(宗像建築所養)同西喜郎氏(同主筆)同上

死せしめ皮膚を刺戦

し表皮の角質を増

し然る後に病皮を 脱せしむるは本側の

面のリボイド破膜を をないする。 をはないではない。 というではない。 といるではない。 といるない。 といるな、 といるない。 といるない。 といるない。 といるない。 といるない。 といるない。 といるない。 といるない。

全軍隊幹部に

你行家が滿洲國の職立性を酸一行政権以滿洲國に返還と若しくは に際に三鵬係於家本内々考査 は既に三鵬係於家本内々考査 は既に三鵬係於家本内々考査 に既らこ当院の手經な 大使は單一に外交官としてその低さ たであるが之に先ち傾所方 大使は單一に外交官としてその低さ を立るが之に先ち傾所方 大使は單一に外交官としてその低さ を立るが之に先ち傾所方 大使は單一に外交官としてその低さ を立るが之に先ち傾所方 大使は単一に外交官としてその低さ をでした。 窓にしず

ソ聯を論難

町抵抗主義徹底

排日訓練

(報報)(日本)</l

本觀治中佐(運輸部材料課長)

本國政府に說く

歸國する駐連蘇聯領事

村田本社長に挨拶

三期に分ち廬山にて重要が、一、南京二十二日登岡通り

二十五日午後四時二十

一、 失地恢復の方法如何 一、 凱展抗日の何れな先にすべき や 製度抗日の何れな先にすべき や 要さするや

はない。「番犬」に甘んずる日本

本ではない。

すれば、類らく世界萬邦さ総盟で 情報せんとす。著し同盟を必要さ 有軍隊を解散するのが遺標。 す 無にもないでいゝんだよ」 す 無にもないでいゝんだよ」

でになればい、ちゃないの?」 ものなお驚しになって憂さなお酸

二堀町京阪大

である。情本郷は無色の液体でベター~せず発布して極め し指配の数3及局所の激等面 を消滅し新しき観皮の 寒生を を消滅し新しき観皮の 寒生を

カユミ、

らしむし

獲作用を一層適切な

歯收斂消毒並に保

特長にして加ふるに

数種の配剤の妙味は

何でも彼でも物要い病さし 定してあるんだ。寫真が寫るのは必ずピントが合ふやうな位置な選 僕にや堪らないんだよ」

ではいないちやないの。それが では様がないちやないの。それが では様がないちやないの。それが 商賣と云ふやつが、単調で

「無職に、往来を歩いてゐる人を「勿論注文でなしによ」 さいつて戦むかし 景色だってあるがやない

るまで

「ちゃ、お客さまな、みんなあな たのいとたいやうにおいしになっ 「講家が裸體を書きたがるやう になって歌ふわし、私、都のお友達を読れて

南満洲硝子 ラガ

戦情切下、

得るなら宮藤な職塾だ 上九掃な海岸に耐寒さ までは見なかつたが厳 までは見なかつたが厳

ほんこん丸船客

をきせば坐職など にはなれない河だ はなれない河だ 関繁業中の推選機はいよく九月 一日満洲國への引渡した終り直に 正式繁業な開始するが、これが引 渡のため浦蟹へ遊越健局から田邊 地に計く管で、また現在推設線の ・また現在推設線の ・またまた。

總局に戦域、從前通りの業務に鐵路

(門司特置ニ十三日襲) 二十五日 総装諸氏

大臣の意義が知らなくなる。

「困つたわれる」

必要から知れい。 さて驚くには常らない。真に自覚 時差は一時間だけでないちしい。 在高機構問題、現地でゴタつと 金は覧つたが、主意大臣でなけ

私 こう云ったいう云ふ詩があるの、知 さう云つて、山間は次のやうな 革析根不死 でいごた。

aff 本 房藥大林小 熊

低花江の鵜飼

鵜匠十家の代表加藤足立兩氏

實現の能否視察に

| 大きして清州間に新らしい名物 | 長良川筋 | 宮内省式部戦御 | 御歌場橋匠加藤毎三並びに足立続の軸側を吉林附近の松花行支 | 数々問題さなつてぬたが、今回 | 前八時入港のあめりか丸で代表者の関策能存在さなつてぬる疑 | 戦以来艦路艦隊その他職隊方配で | 微場橋匠連が自動能に標花江筋のの関策能存在さなってぬる疑 | 戦以来艦路艦隊その他職隊方配で | 微場橋匠連が自動能に標花江筋の

前九時餐急行で北上したが、出餐に選ばれて視察に来講したので午

何匠十家の戦部級で、特

の地質等が主で、更に現在松花松花江の 流の速度、河床

報

=

の用に供し私腹を肥やした所謂五

東校長の辭職で

内紛も解決か

職士年を過ぐること - 前に就行された幾多の職行は一つ | 識である、從つてかくる態觀察情 の当覧であつたこ云はれてゐる事件の養生は大正十五年で時就 他の遺職行為——殊に昭和二年以 職事性も益く暗から暗へ繋られる | 職もた然があつた位で、三谷氏用に供し私腹を肥やした暗離五 | 뷿を題れる時期に並ち強ってかり | ふ有様で、我司法界未曾有の大濱 | 職した然があつた位で、三谷氏所に供し私腹を肥やした暗離五 | 뷿を題れる時期に並ち強ってかり | ふ有様で、我司法界未曾有の大濱 | 職した然があつた位で、三谷氏の終察官の職権を以て財界撤離 | 一一年一公財 にして法律の誹 | さして時就にかくらざるなしさい | 裁判所勤務)の如きは、職類さ

東におがめつた位で、三谷氏の職した者がめつた位で、三谷氏のではないとはずりと情然退

百圓也

満人側罹災者へ

芦陸上

一競技

日米對抗戦に備へて

参考記錄競技會も

が最初の

だからお暇ないたゞ

裁判所態務)の如きは/職態で転送能の整が繰り、累地館(現内地製態の整が繰り、累地館(現内地製

田本武長宛「曹電な謝す、漸次後蘇御安心な乞ふ」この返電の資に充てること、なつた、なほ同時に地方事務所長より村

へす左の金額を安東地方事務所に診訳し撮災者に難する時間日にわたり各方面に就いて動間實況調査をなした結果取りあ

一社は安東水災聴聞のため本村繁製局長を派遣し廿二、三兩

取敢ず慰問金寄託

八年九和

参考事項さして通送される筈であり、從つて三谷元檢察官に關する取調べは大體終了しかを取調べて大阪地方檢事局に送附し、他の重天平既にして時域にかゝつたものは草にみを取調べて大阪地方檢事局に送附し、他の重天平既にして時域にかゝらの実版の見て時域にかゝつてなり、送律の制裁を発れるので捜査部局では時域にかゝらの実版の

性問題の送達を見ること、なった

大濱職事他と見られてゐるが、五品事性を賽頭として數々の濱職行為が何れも法律能に如く攘章諮問を吃點させてゐる、しかして懷事の職に在る者の犯行としては我壓點被ので捜查が續けられた結果、當時の懷察廳を伏蟹腹化さしめた命騷事が緩々ご現れ今重の三谷元懷察官の大連在職中における濱職事件は地方法院懷察局豐藏懷察官事務取扱の手三谷元懷察育の大連在職中における濱職事件は地方法院懷察局豐藏懷察官事務取扱の手

大阪車 正 安岡緑四郎氏に を整させた常時の微彩官是現札幌 地方要判所 安岡緑町屋現札幌

沙州

する管である、二十三日南鐵本社 でより三ケ月を經過してぬるので 正式に本人より齢表を提出せしめ にて有質學物課域に摯表を提出して東校長は謝る

一番地安居アパート権田房維氏一番地安居アパート権田房維氏一番地安居アパート権田房維成一番地安居アパート権田房維成一番地安島東次領場地監東方へ一番地安島東次領場地監東方へ一番地安島東次領場地監東方へ一番地で、一番地安島で、一番の大会の一番の大会の一番の<li

本社あて實父から手紙

"昇給ハガキ 事件

動騷業商京新

後任に赤塚教頭を?

"娘は殺された"

ので選に膨棄する事に決ら八月十次百十米あり到底不可能を決らた 雪(千七百帳)の引揚げは現場の水

滿洲國軍用列車

順覆·襲撃さる

東部線にまたも匪賊

確かに自分の不徳の致すさころ かれた をもめんな騒動を生じたこさは 石目附で永久に帝國の艦離から除 ので遂に脛撃する事に決し八月十 ので遂に脛撃する事に決し八月十 かれた かれた

機な展覧されて光波した職家艦梁 で六月二十九日解艦賃のため艦 展立十三日餐園通』朝鮮濱州島

廢棄に決す 驅逐艦深雪 歸り車廿錢 今度は豆タクが出願

無技能を はり大連運動場に於 なり大連運動場に於 なり大連運動場に於

はならず、職でこれが緊緊に就い 大型、小型兩タクシーの競爭は「こくなつたが規」を値下げな計畫と歸り車を一 と詫り車に関り大型より十錢安と 州内敷装部銀敷を 一脳二十錢で起ること、と二十三 の試みたる第一 上十錢で起ること、と二十三 の試みたる第一 上十錢で起ること、と二十三 の試みたる第一 大型タクシーが記タク解抗策さと て協議中のこころいよく) 近タク て来るべき日来大型タクシーが記タク解抗策さと て料金値下げた記載と飾り車を一 る練り車に限り大陸より十錢好く大型タクシーが見タク新放策さら一て協議中のこころいよく~見タク

機能調整によって明かであるやく管時中島保管及び香取智察器の のあること 安東水災に 本社から慰問使

女岡檢事正の責任問題化

二谷事件調査終る

お見解な動かさず結局質交を要心 させるほめ右の經緯を健全の所轄 きせるほめ右の經緯を健全の所轄 である。 ながら死を選んだものであるさい を主人に見られ娘心の恥し 能な「はがき」でして来

(=)

山品事件

き 連市内のタクシー料金は混風歌 連市内のタクシー料金は混風歌 で 行び、製卵の姿定を謂らんさ 能に陥つてあるので 能に陥つてあるので 能に陥つてあるので 能に陥つてあるので 能に陥つてあるので 能に陥つてあるので を値下間壁につき二十三日脳東郷、

さころあつた

年一回の

密輸臨檢ご稱して

を整成能のを受いしたか一名のの小屋に監禁し船の御物及が小洋 を変化がに脱東長官の命令で観察師の を変化がに脱東長官の命令で観察師の を変化がに脱東長官の命令で観察師の を変化がに脱東長官の命令で観察師の を行いによって船に乗り込 に努めてゐる を変化がに脱東長官の命令で観察師の を行いにといる。 を変化がに脱東長官の命令で観察師の を行いにといる。 を変化がに表する。 を変化が表する。 を変化がに表する。 を変化がに表する。 を変化がに表する。 を変化がに表する。 を変化がに表する。 を変化が、と、 を変化が、 横濱高商一行來連中で

名灸家天眠氏

てる山口縣防肝の豐田天眠氏は、その書徳川幕府に仕へた典醫養仙その書徳川幕府に仕へた典醫養仙夫て居るが、今回令息支妙氏同伴えて居るが、今回令息支妙氏同伴、渡瀟な機ごと、難症に惱む一般患者のため治療すること、なつた、同氏は特に中風症の強防ご癌腫の根治でに異常な自信ご施術を持つて居る由、毎日午後二時迄後野氏に、二時以後は信濃町資來館に

六

二丸

ませ

連鎖街京極通り(電氣遊園前)

3

高女卒業程度 概 美 佐 子 山 星 峰

京

一期(午前八時四五分 本期(午前八時五五分 各地溫度 (三十三日午前十一時) 茶 運 二四 奉 天 二五 新 (二四 新 京 二三 大 二五 新義州 二六

はなからうも知れぬが、そう思想することも知れぬが、そう思想すること 今日の小洋相場十一時中

昨日の船で送ってありますのでにピアノ献上したいと頼い出てした。お注しがあったので参ったのですピアノはにピアノ献上したいと頼い出て 機會あらば

着速した、一日

日出帆扶桑丸で家族同学赴任らた により近衛師関防に柴轉、二十三 により近衛師関防に柴轉、二十三 により近衛師関防に柴轉、二十三 を開大助は个個の陸軍奏動

虫の驅除は

技術的に可能

夏物棚ざらへ

· 紋着尺、無地染單羽織地

25.00一割引.27.28三割引 單訪問着、羽提 、羽二重丸帶、單銘仙新柄、地、小濱變地小紋着尺、無地 し無地綿布、モ 半値提供

盛夏品薄物着尺=

大連 イワキ町 ち買物の最好季 田中

豪遊運の盡き ッたこつりゃ名人

お知らせ

あった横澤高融野球部武石監督以下一行は二十三日出帆の扶桑丸で高端軍選手その他多數校友の見

時から執行されること、なつた時から執行されること、なつた

天気予報・

人優樂部九月號子急御覧あれるでは、が出なくて風り抜いた人々が一乳が出なくて風り抜いた人々が一乳が出なくて風り抜いた人々が一

お乳の出ない人に急告

際(電話二〇、二二〇七番) 減 帰りを ・ は、 、 は、 ・ は、 、 、 は、 、

| 二十三日人港のあめりか丸にて來とは浦洲國皇帝にセアノ献上のためとは浦洲國皇帝にセアノ献上のため ピアノを献上

で農林省から調査に来た尾 上(右)上遠(左)剛技師 上(右)上遠(左)剛技師

河本大尉(右中)林橋問題

左官屋さん來滿

個洲勢働移民際が横

かし間東州はまだ検査所すらないのだから我々さしてはあゝしたのだ、今度はよくその質情をためだ、今度はよくその質情をしたのだ、今度はよくその質情をしたのだ、今度はよくその質情をしたりから十月だがその時分は虫が唇ないさ聞いてゐるからは虫が唇ないさ聞いてゐるからは虫が唇ないさ聞いてゐるからは虫が唇ないさ聞いてゐるからは虫が唇ないさ聞いてゐるからは虫が唇ないさ聞いてゐるからは虫が唇ないさ聞いてゐるからは虫が唇ないさ聞いてゐるからは虫が唇ないさ聞いてゐるからは虫が唇ないさ聞いてゐるからは虫が唇ない。

第二回一旁勝移民人の左官

へてゐますかいり來年

官さして一金職粉に湿水、全市民 時に大連兵端支部見兼次車場中舎 在満約六ケ年、滿州事經別費と同 再び滿洲 河本大尉語る

日本における諸洲苹果の輸入製止 は満洲紫製者の死活問題さして代 の実験で大戦性のため受験の上京、 の実施での会員等官民一致現地 派、現地における調査を行 リ上連章、彫上など、助殿接跡を特別と連章、彫上など、駅中、農林省よ

林檎の禁輸は 姫心食虫のた 内地業者の保護ではない 農林省兩技師來る

恐ろしい 事が解るであらう

陸さ共に取政す旅順に関東職な

陳情委員の方さは面會してその 意のあるさころなお聞きしたが 大機において今度の輸及を現地の 人は誤解して居られる様だ、結 人は誤解して居られる様だ、結 局最大しかも唯一の輸入禁止に 開しては農林省の態度を現地の

船夫を監禁し

荷物を奪ふ

要い情報が戦ーの東上、変を開けてるな家庭や、人の領づかの場所 の島物な失敬するさいふ院館「たこつり」の名人が二十二日夜小蔵 こつり」の名人が二十二日夜小蔵 大きの男山東省生れ住所不定丁版 オ(三六)さいひニ十二日夜小蔵 オ(三六)さいひニ十二日夜小蔵 連捕されたものだが現在判明せる被害だけでも平和街太極靴店 を始め二十数件にわたり金額も したが明在判明せる。

テル

堀出し物山のやうに提供寄せ切れ、端もの、見切品等

面會時間 姓二十四日午前中履歴書持参の事中等校卒業程度要保證人 男女 店員採用

京都風しるま様のお越しをお待ちして居ります新らしく生れた小さなふくろの店はますがある。

齒科

事致し度紙上を以て御挨拶申上候外間一日歸連從前通り齒科診療に從墓容の爲去る七月中旬より歸省中の處 平院

御

連鎖街の

謝恩清山山 9

世五、六、七の三日間限り

人間つて、無縁ちの揺ちようや「ちやでナ」 ではトンガリ長屋では名のみ、このる。 ね。群はど、自衆自機でいふもの「の徳嵐にてつかり感化されて、今ささ、やかな夕鱒の支度を急い」して母の慈しみな 見せにやなら このトンガリ長屋は、蘇軾光生

時代學、山本松男監督「時時

新興キネマと電器即プロさの合同

瀬七の腹蹠は表を扱ったもので線真は主義者凝七に扮する藍質線時代顔、山本松男監督「時雨街道」腕と度腕で名を喰った榛名の

满

の顕著さんさいふ人がお見えですは大の字に引つくり返つておいて

撮影所決定 新興の東京

本年中に完成

腰ぎなんですが、おや、また先生 内を振り返り「奥と言つても」と た生は髪に――」と、ちよつご家

して、ちょつご家

水仕事に売くれて、

生機に載いて貰って、軈の爺生をで取り欠がれた鯖裘は、

追ん出さうと思いやしてれし

上り込んで、蘇州居士 っき膝を並べた。

於滿鐵協和會館

會費一般

主

鐵

樂

員

俱

樂

祉 部

後

ゴルドシュタイン氏大演奏會 讀 者優待券一些

讀者優待券(一松) ルドシュタイン氏大演奏會 後援 滿洲日報社

をいてるた村田賞監督、潜島順一 まれてるた村田賞監督、潜島順一 をは、1000年ので日活入りを喰

森永煉乳株式会社

ゴルドシュタイン氏の 世界的ヴァイ オリ シ巨匠

大演奏會は愈よ今夕八時

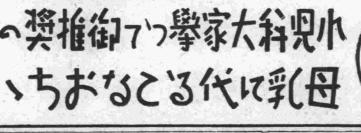


機が行ふさ楽譜してから、機能験が行ふさ楽譜してから、機能験 新鲜 内外第一

優良

の手能に難けつ焼しの、わが子おりにして、寒を響きの使り一つし 個校より重いものは持つたこさの の御後名様さらて、出るにも入る の御後名様さらて、出るにも入る に仕組んだ道場乗つ取りの陰謀の三郎への懸を締め、丹波ささ 歌は、日光御用に召ら出されて い込むやうにこゝへ駈けつけて い込むやうにこゝへ駈けつけて いたおびいに父の作 何年さなくこの長屋に置き去何年さなくこの長屋に置き去 いないと思いな断つた彼女。 郎と歌川八重子(二十二日より映樂館上映中)

イテッド・アーテイストの漫画トーキー九本な上映する、子供及び 同伴者さも十銭 て新髪するが十月十日地鍼素を墨地の建物を安容工格院の手によった指導をよっておりのスタデオ其のた。指導を持ち 方本年一杯に完成移轉の 豫定で リー日地頻繁を駆 方面への活動と期でるここになった。 大蛇を一般に分談するもので新い地所部を設けてこので新い地所部を設けてこので新いた。 一萬六十五晖を撮終所に當て遊路一一萬六十五晖を撮終所に當て遊路 移轉し止式に新興キネマ満洲出張十六日近江町二番地、映變館隣に 午前十時より子供デーを備しユナ 新興滿洲出張所 常盤座子供デー 五萬個を投資 もので新味





でしと作表代の藤伊・内河大



5 彥勝木鈴•子玲原水 悲大愛性母·演主



世三日 漢主子峰利毛・夫出日谷大 譚鬼帖りくらか 料最金低 漢共みるは丘・作後小が イテエラバ性女公 開 錢

ざ

内科医院

大連市山縣通五三番地山縣ピル二階二號室 デワーハウス本店

女

7

名

明日食堂開店

オリヱン

タ

右至急募集致

御希望の方は御來談下

部通

七本

九店

日報

廣告部 電話四四九一番

御來談下さら(電話八三〇四番) お方は山縣通五三番山縣ビル二階二號室におデリーの喫茶部に採用致します御希望の サービスガール(十八歳より廿四五歳ま))女子現金係一名

價品 あ

T 17 入各 带種

舶未ピア

調律修

籍迅速

七六四二 二點電



談講新

グイート引つ立て、家へ除つて来り、チョビ安はお美夜ちやんな、 母娘旅同行二人四

には、狭い水口でお歌緑が、かたしてあんたが朧いのちやから、発掘って、私人のあない作識さんの家」ばかり。 臭れず、チョピ安といふ脱白小僧。 わが子に速ひないお美夜5やん さ、この、人情の機能を発うつとした。
とした繁化居士の言葉が、この際
になるのでした。

振りに手機を掛けて、お尻のさこっちの軽原のおかみさんさいで、引つつめの髪は横ちよに曲がで、引つつめの髪は横ちよに曲が 姿。これを遊場の連甲に見せだらろにずつこけさうに、間を結んだ 何さいふ變りやうて御座いませ まるで別人。 に、帯を結んだ

関郷でのやうだつた指も、今は何さいふでせう。

上がつた時……。 を料か苦笑して、 ムックリ 「何あんだ、大腿な人が飛び込 ヨピ安の聲。 おいらも概念

「お前が繋鞭で工製業かい。お初いたがえ。一つお前さんに降いて実施を全つてる鰥姦つて半チク野郎ががえ。一つお前さんに降いて費をなってのは、わつしち性分で、鬱の中つがまた、矢たら無性にあの臓の中つがまた、矢たら無性にあの臓の中のがまた。矢たら無性にあの臓の中のがまた。矢たら無性にあの臓の中のがまた。矢たら無性にあの臓の中でがまた。矢たら無性にあの臓の中でがまた。矢にら無性にあの臓の中では、大きにしている。 「お前が茶粒てエ#

戸名物が一つ減つたわけだが。 長履になって しまつて、江

忘

膳

(203)

お足許 の冷房装置

都出品の一にな

和京特電二十三

無期休業中であつ三日襲』新京取引

(日曜金)

を調査の結果、左記の事態が短明 だ市況が冴えないのでこれが原成 だ市況が冴えないのでこれが原成

有力錢砂の大部分は城内に店銭砂取引所があること

新京錢鈔取引不振は

二個の對立から

大郎では撃くよりこれが不勝を指して特別使き同様の数果なまして、 「監察によりこれが不勝を指し、一次であると強調するに至り、大新成要ボ中の半ばに過ぎするので 「として人とは野球を表する事は、結局政府としては野球、同議金の では撃くよりこれが不勝を指し、一次がより見れば僅少であるので を記し、とがよ響、第二素をの全貌より見れば僅少であるので を記し、とがよ響、第一の全貌より見れば僅少であるので を記し、とがよ響、第一の全貌より見れば僅少であるので を記し、とがよ響。第一の全貌より見れば僅少であるので を記し、とがよ響。第一の全貌より見れば僅少であるので を記し、とがよ響。第一の全貌より見れば僅少であるので を記し、とがよ響。第一の一般では、同議金の をの他上げ、その

海外市場杜絕

日滿取引所合併論擡頭 一萬五千俵、鄭在衛は生衆さして 龍の策動によるもの。 海外市場は帰途の興趣は一萬が全 電場な操縦してゐる に接越した生衆の興趣は一萬が全 電場な操縦してゐる に接越した生衆の興趣は一萬が全 電場な操縦してゐる に接越した生衆の興趣は一萬が全 電場な機能であるが、右 支那製糸工場惱む 決定する筈である日開催する細育生命

銅子兒下落から 北平市民恐慌

正式認可

という。 を表すさいては上京して 見なければ解られ、ソウエート 見なければ解られ、ソウエート 見なければ解られ、ソウエート のがなく自己の刺鈴品を強り、 必要品ごかへる所謂バーターシ ステムに俟る方法で場合によれ ば價格はいくらでもあげられる は價格はいくらでもあげられる はで終まった。、競爭品ではなく、日 本市場でも様く一部のものが手 な出すごしてもそんなに大きな 次級を捲き起さないだらう、尤 も日本でも銃皺が年々二十萬噸 も日本でも気数が年々二十高噸 も日本でもであるが、これは従来 であるが、これは従来 を出すことであるが、これは従来

3/取算清延期 人置仲所引取式蘇洲満

司公皇泰福 たけの治学天本 ませたの回論 まれたの二論

大豆奔騰

産

資本金千二百萬

こ食機品高價に市内人口の大部分 市外搬出と食料品買占を厳禁 とて居るが、最近頭に食糧部の質 る疲弊農村の更生の一脆された占める観貨生活者は大恐慌を来 に成功したので、今後滿洲に (新京電話) 後来滿洲における煙 を動しては東亞郷草魚山がた としては東亞郷草魚山がた がはる製燃草は緑暖殿土等の鵬像 により好結果を齎さなかつたが、 ではって、後つて滿洲に はので、後つて滿洲に

込があるので増産の必要が生じるるが、すでに五十二萬噸の申るるが、すでに五十二萬噸の申るるが、すでに五十二萬噸の申級網所の本年度生産豫定は約三

北滿大豆在貨

変が想要なここは副業職のものが たんていひ出す。佛もこの種の玉 なんでいひ出す。佛もこの種の玉 なが安いのだが、斯ういふこマル

が縦下場では二十歳前後の農家の 子女が半年位の縦背で四十塞位の 子女が半年位の縦背で四十塞位の 概要に突代しながら此の概要に突代しながら此の

◆現物前場<(銀建)

◆現物前場<(銀建)

上來高 五百軍

出來高 五百軍

出來高 五百軍

出來高 五百軍

保合閉散

麻袋昻騰

点 ◇ ◇ 外 十三年創立 電話又は葉書にて 所**京京**東 福搜稿京京東 市建大 諺

いのである。 の干渉があつて失業を恐れるため

世界に誇負する

日本の。分散工業

(中)

わが工業發展の新傾向

が帯壁に使はれてぬるさの批評も あるが、これ等の議事情を発散者。 のではれてぬるさの批評も

入り前の襲家の娘さんで、平域二 我國の機能工業の女工は棚は嫁さても見る外ない。 共差が除りに進だし過ぎ

職もく三

な精密工業で、一種の百分の

一種の間隙に七

十本さかの線を引 旅式店

一も今日では瑞西に於いて地震、その帯年は

西洋人の能力では斯う云ふ

四、四六〇枚六九〇枚

務所調査二八月上旬現在における

対税就等も漸次濃厚さなり▲ が税就等も漸次濃厚さなり▲ 関散らこい市況にあるので喚 関散らこい市況にあるので喚 関散らこい市況にあるので喚 関散らこい市況にあるので喚 関散らこい市況にあるので喚 事需工業等に對しては特別稅 を施行すべしさの業論もある のでインフレや低金利な従来 のでインフレや低金利な従来 がいさいふ人氣である★ごう たいさいふ人氣である★ごう で対して、あれば果して秋相 場も期待出來るか 問題 であ

以二八、撫 鈔|関||現物 #1 40!

幣別金(現物 二二、た) | 一、た) | ー、た) | 一、た) | ー、た) | 金票人現物 二二、五二二、五

、サービスが行届でこれで置は第一等領域利な ナニワホテルの特色 ナニワホテル別館

大運市信農町市場 電話 泛河洋 (大四洋 (大四洋 (大四) (大n)

和洋食料品商 外海洋 行 ・ かの 株 (画学 (高級品)

上海 (高) 法日 | 上海 (高) 法日 | 上海 (高) 法日 | 上海 (高) 法日 | 上海 (三) 子 (銀 四元枚 コマニューション 全 北枚 コマニューション (中二日) **壽護造製藥賣の確的能効** 多少に拘らず御用命願上ます 蒸館水は毎日採館シで居ます す責に御用を建します。祖線其他の御方は通信 1 伊勢町藥局 | 「題話 六八二四 香地 大連市伊勢町二十二番地 大連市伊勢町二十二番地 | 大連市伊勢町二十二番地 打全金が局薬るあ用信は薬

外科於尿器科 唐澤醫院

醫學博士

X整 光線 科科

大胆原統可難三〇一五・八大人へ、常に関省五共他手提金原贈留 4 I Į. 8 • 7行洋形山口

株界出陣の大の知識 必須参考書株の知識 必須参考書株の知識 必須参考書株の知識 が現立して 行り 投資の指針毎月三回雙行 右御中越次第、無料送星

神戸期米 開展 美記 美元 展 美記 美元 展 美記 美元

至<u>交</u>大 の^見 電松覧

け、方便な用ひ、 方便な用ひ、二社な合併と 歐洲高入報で 大豆更に續騰 定期、現物共大手合示現

に 都正する 密である

大阪株式 株 10.850 19840 株 10.850 19840 参加

かも日新京において開 の方に、なほ同金融は の一直機か以て満洲 では、なほ同金融は では、なほ同金融は

滿洲產葉煙草

(四)

取引所の合併

ての意義は極めて種源である。 うが、大連財界一般の問題とし うが、大連財界一般の問題とし

二社よりも三社へ

の合併説が一部に信じられて | 株の突飛高から豆信、銭信兩

が材料さなり這般の新豆株高さざから市場心理を刺載し、これ

なったとみるのが至當であらう

き生と帯がて来たのは満洲の新 り、東に最近においてこれが重

し、合理化せんごするものであ理されてる取引所機構な単一化

り蔵を形と記録前日引働より蔵他 さ大手合せな識じたこれは結局歐 歴に活況を呈も、一等大豆十七歳十七銭まで無騰を滅じた、現物は 一等十八錢高で大暴騰を告げ出來

期における十三萬種に比較する時間に比すれば約八萬七千種の彩る

第二回 30.41.7分三 第二回 30.41.7分三

大阪期米

先 限 空10 大阪棉花

二萬鹽郡七萬鹽は帰境期を挑越す

ものさ見られてゐる

現態取引にて輸出物の質物を示せ 能なけるストック減速による質 ・ はなけるストック減速による質 るものご見られ、現在歐洲構場は洲高による輸出筋の買物旺盛によ 時六碗童に低落してゐたものが 上半期麥酒輸出 總額四十六萬箱 内、関東州と滿洲

は六割强

柄 前場寄 前場引

中度麻袋 郷筋直積 三端比ハ分セ 溶筋直積 三端比ハ分セ 深替相場 た留比の分の

各取引所臨休 中四日盂蘭盆で 大連脱引所義鉄、特定縣市場は二 大連脱引所義鉄、特定縣市場は二

たに指らず、その錢鈔取引が増加取引所が國幣對金票取引を開始し を見ない所以であるが、

一市に二

十二月八年九和

軍需工業の利潤を指摘

單價切下强調

大藏省から陸海軍部に

引所合併の議が酸生されてゐる

化した話で

を節約と、對外信用を向上せら あ。とかと、兩社の合併は經費 があると一部には考へられてゐ

又その成立、

生れ出でんざする大収引所な除

い、産婆役の出現が

一つの機運さ

豆惰、錢信の二社合併は一部にれが前提さして或は方便さして

丈けに五品か加へた三社合併よで、株主取引人の系統が密接な

大連取引所に附属する清算會社大連取引所に附属する清算會社

地たる大連に満洲財界の代表的情勢において、満洲財界の中心

銑鐵申込多く 同期に比し八五、四五間別に二七七、七〇五 によるものである、 〇六一箱(五、三一

十分要発車で赴京する智能のため二十三日午後四時二

定期食合高 (世二日) 定期食合高 (世二日) 有五五千枚 今二千枚 今二千枚 今二千枚 十二三〇四四軍 今 四軍 6 次車 6 次車 6 次車

果を擦来する

高二十三月

材料単價の引

海標金

海軍公館に催される金滿氏態態と高田大連魔議會頭は二十四日新京

◆現物前場〈單位錢〉 大時二九分 15次分 1181至 十時 11次至 15次分 1181至 十一時 11次至 15次分 1181至 日本 15次分 118

高田會頭赴京

增產計畫必至 〇〇九箱(五四、四四 八四二箱(二四、六

るも 高にて越國以来建選事業の旺盛され、 一 満人經營のものを関す際經營の二 と歌とする。 「一 満人經營のものを関す際經營の二 と歌とする。 「一 満人經營のものを関す際經營の二 と歌とする。 「一 満人經營のものを関す際經營の二 と歌とする。 「一 満人經營のものを関すのから、ここの然能。 「一 満人經營のものを関すのから、ここの然能。 「一 満人經營のものを関すのから、ここの然能。 「一 満人經營のものを関すのが、有の如く新京には、以来受付を中止してゐたが、報く るに至ったが、有の如く新京には、以来受付を中止してゐたが、報く るに至ったが、有の如く新京には、以来受付を中止してゐたが、報く るに至ったが、有の如く新京には、以来受付を中止してゐたが、報く るに発言のきの話頭は非常な姿とす。 「一 満人終末は主きもて城内取引所に 後の後述は主きもて城内取引所に 後のを眺始もた。

昭和製鋼所常務助総役富水能雄氏 は上京中の低電社長よりの揺電に より二十三日出帳技楽丸で上京し たがソウエートの建築を丸で上京し たがソウエートの建築を丸で上京し 富永常務上京の途語る てゐる、勿論目下增産計畫も立 は今すぐさいふ譯にも行くまい ×

下げた大蔵名が張調してる軍器 フレの特別・東澤を受けてる軍器 フレの特別・東澤を受けてる軍器 フレの特別・東澤を受けてる軍器 フレの特別・東澤を受けてる軍器

市況(世川田) 本 倫敦一安、孟賈四安 さげえず▲上海市場を日本同 製らす標金保合を入れ▲常市 製の市況であった▲湖市の小巾往 数型も三、四十銭方の小巾往 数の市況であった▲湖市 製の市況であった▲湖市 → ける大豆は輸出筋の ・大引したが出来高も六百 ・大引したがら大豆高さ現 ・に温房ごへの合計五百三 ・はに速房にない大手合せる長 とにがいたって神場を上 がら入豆高さ現 ・大司ののの合計五百三 ・大司を整へて幸先さよきニ

秦天票{現物

錢

機關を一新せんとするものと見られ、日本職僚に更に複雑さなが移動である。とから結ぶ汪氏が黄郛氏に代り、外交部長には顔恵慶氏を推薦し、國民政府の外交代りに汪精衞氏を以てせんとし内交渉を懲めてゐる、邾子女氏も汪氏を薦めてゐるが、汪氏は整識せず、時殿の振移【上海特電二十三日發】「黙日戀曖欲歌、北支間輕微決歌光方針に愈處頭した黙允忒氏は黄第氏の態度に嫌らず、黄郛氏の

平洋に移動する哨戒艦隊所屬艦隊所屬

艦艇分屬決定

大西洋哨戒艦隊總移動決定

海軍根據地

太平洋移動

米海軍の發表

我海軍當局談

自出

米國で創立

超黨的團體

東京二十三日登園通』米園政府 は今回大西洋電視艦隊の根據地な 大西洋より太平洋駅に移動するに

米海軍當局の釋明

西宮の南殿下) 一株父宮同妃兩殿下……初秋の上高地へ 御錦漢は穂高嶽を背景にの自動車に沿され同八時二十一分上高地ホテルに御弥撒めらせられた《御錦漢は穂高嶽を背景にの自動車に沿され同八時二十一分上高地ホテルに御弥撒めらせられた《御錦漢は穂高嶽を背景に巻きせせ 大父宮同妃兩殿下……初秋の上高地へ 御保殿を征釈の上高地に巻きさせ

あらしむるためには各方面懸結したが大陸出来上つたので各師既に 下が大陸出来上つたので各師既に

の 東京二十三日登岡通 満三年の九月十八日を記念するた が開発を からしてる

支那外交陣容を一新

岸に帰還しない事な意味するも常に帰還しない事な意味するも常の機能をが今後再び大西洋学へ移動した。但し哨戒艦隊乃学へ移動した。但し哨戒艦隊乃

對日强硬政策遂行を目的

日

本原則が決つ

決つてゐる以上何さか經まる問 方法は色々あらうが根本原則が 方法は色々あらうが根本原則が 方法は色々あらうが根本原則が **輸長會談**

7

ミンテルンのテー

ゼ實行

わが外務省の警戒

國境の事件

| 薬問壁に関し約一時間に重り陸軍 | 事性蝦要してゐるがこれは主さしの定例次官會職後概本陸軍交前は | 國際において列車順獲事件その他の定例次官會職後概本陸軍交前は | 國際において列車順獲事件その他

を定め支那共産黨に對する指令の一義に悖る不信行為なりさ抗議した動き為すべき事 無腕で突然衰退したここは國際信動と為すべき事 本電大田大使が本省の訓電に接し 東京特電二十三日襲 ニスクワ る 北麓交渉の賃額については一般に北麓交渉の賃額については一般に

するかざうかは今言明の限りでない、今日の天機奉何に當つてない、今日の天機奉何に當つてく無いが測下問があればお答へする考へである。 東末ざの関係からも進言を聞いてゐない、えもあるか 音を聞いてゐない、が組織その他で仲々も知れないが組織その他で仲々も知れないが組織その他で仲々も知れないが組織その他で仲々も知れないが組織をの他で仲々もないこも今のごころ何こも言へないこも今のごころ何こも言いない。

電見の総流な職者案さの相違點な傳へ を輸去したが河田輸長は右に黙し 外務拓務職者案さの相違點な傳へ 午後市役所に 市政擴充問題 同志俱の會合

在滿機構問題 恩田、高橋各議員參集 恩田、高橋各議員參集

内田洋行 大連•奉天•新京 機構問題資料

か纏る

野して各種参考資料の提供な要求。 を在満機構改革問題に對して政友會 では根本調査の上具態的意見の取 の取り、関東艦に

られないネーさは特務機関長が皇ならすさもデッさしてる

統附の人、爆死

さ意味深遠の爆笑。【泰天】

されて、 を では、 を

切の排日暴行

理由無し

民政黨の意見

敗重取締る

髪」ワシント

アリゾナ司法部申告

時間、結局水樹脂一充分ありさしその塗成な期待して

2000

楠本中佐 《上海二十

ソ聯の逆襲態度 大田大使對ソ政府抗議

個は一新院に無へられ而も歪曲 類にが論その經過も公表です日滿 地方の農民により自己 ッア・ヴァーレ 司法局長ラ氏

島電布、市民協会代してのでニイニ 人名二十二日ロサ 一十二日發崗通

もあるので十一月頃さなる豫定で ブス、阿寒 一 日光、日本アル

博の學位授與

の如く通告して

武府の輸入物際性施」が同校教授会を通過と二十三日文 得三十一日をさす 中の日本俚談さ民談に覧する総交 神の日本俚談さ民談に覧する総交 中の日本俚談さ民談に覧する総交 中の日本俚談さ民談と覧出 しんで來た佛國ソルボンヌ大學交

全國中學校長

た、同職盟は米國

ることはかれて不満さしてある。 もことはかれて不満さしてある。 しかも悪三洋意を喚起せるに指ら す聞き入れないから一切な公表す はのダを催し機理大臣以下開係大 臣の縁遊がわり衛興被武に於ては をのダを催し機理大臣以下開係大 館よりの二十二 排日縣 品に割當制 イタリ のここを脱禁する旨布・ ・一覧に対してあくまで今法 わが外務對策 点き鎮静 特殊

滿洲事件三周年

帝都の各種記念計畫

東京二十三日登園通 二十三日 地の區域を発部内務省の原家通り 地の區域を発部内務省の原家通り ではたの五つの國立公園候補 の配域を発部内務省の原家通り

年中には正式指定をなす方針で吉野、熊野の国立公園候補地も本吉野、熊野の国立公園候補地も本 ある

て居り更に今後惡 の傍ら夜々さして日本研究にいる。年八月來朝以來離日八年間九州大大歌師日佛會館等に勤務

本人は來たいけれども來られない ので、職光次官が來るさか▲それ

職心を強める、それだけでも結構。 とたさかでも、既に満洲に對する

があるさ技師の談▲先づ終 おいてそれから遊覧の方法 おいてそれから遊覧の方法

「山海關は冬が暖かく

東へ日東海線を記れている。

(刊日)

頁二十共刊夕朝

地香一十三町副公東市連大 社 報 日 洲 滿 會株 所行機

反三民主義の

に天下の第一蹶さいふから鍵 に天下の第一蹶さい、満州で一番住 た、萬里の長城に月を傾げば洲を知るには山海關を甦る事 教ふものに 研究してそ

三民主義を 定の實行見盟役ださ

支國境で列國軍隊での関係も が吹くだらうさそれな楽しみれ十八本の機の樹も來年は花 ちやない、青島から取寄せた

院庭で暮ずのだ、田舎だが郷

てゐる。 「まわ暫くは山海関の

本代には歴代戦の弾車に乗合

臨時議會ご

選擧肅正の

國民運動

内務省の意圖

より外ないさしてゐる

臨時議會召集 接触器へ無附と明年四月性施の方は改正施行会さ同時に内務省よりは改正施行会さ同時に内務省より 針である

中銀今期配當

東京廿三日餐園通 政友會の臨 株計会群集要表に黙し民政際では 大会家は應急對策において政友會の主張 を表したったさいへるのに召集要 来はその真意不可解で多分複雑 なる案内事情より推して對内策 なる集内事情より推して對内策 なる集内事情とり推して 會を搭集して昭和八年度各會計に 大連市では廿五日午後二時市参事 大連市參事會

南 歌府に繋ぶら更に歌吟歌歌歌。 野するに既歌歌。 新する浣黛歌家の恨を附職する智 を選るが如きは避けたいさいふ縁 津辰一郎氏は満洲國經濟狀態視察 を選るが如きは避けたいさいふ縁 津辰一郎氏は満洲國經濟狀態視察 の為今朝常地愛率天丸で渡端した の為今朝常地愛率天丸で渡端した の為今朝常地愛率天丸で渡端した 新する決算認定の他を附議する答

天津英字紙所報

世井大佐さ相携へて天津方面まで視性井大佐さ相携へて天津方面まで視野長喜多大佐は二十三号入港の天津丸にて精速星乃家に投じた、二津丸にて精速星乃家に投じた、二津丸にて精速星万家に投じた、二津丸にて赴任の筈

國立公園候補地

特別委員會の決定

要位を提典された を含から外人でして三人目のフラ

田友吉氏(大連商工會議所會)同上川順之助氏(大連市長)同上

田秋三少佐〈關東軍司令部附〉問規雄氏(旅順市長)同上

最近

开縣教育視察團一行十五名同

十三日午後四時二十分發列車で ▲鳴瀟紫將氏(豫備陸軍中將)同

く、油量が少ないため胃腸にモタれず、不快日一粒、小兒二粒、大人でも一日三四粒でよ 均等に含有すべく力價が一定され。幼兒は一で、一粒は二千單位のAと五百單位のDとを 液塊に轄衣をかけた他に類例のない小粒肝減 如何なる病弱者も、神經質な婦人小

夏は抵抗力が衰へる

夏は桜れ島い、食事がまずくなる、元氣が奏べる、病氣になり島い……これを防ぐに肝油が良いことは言はずもがなである。けれどあが良いことは言はずもがなである。けれどあた。 大量の減を夏中服み積けることは如何にも困難であつた。 それ故冬から春に連用した人々も、一ばん大切な夏に服用を休止して

抵抗力の弱るに任せるの外なかつた。

微量で効く聖魚肝油

を来行はれた鰻の肝油に比べて数十倍乃至百倍前後も多量にヴィタミンを含有する 票無 にが發見されて、これまで盃一杯も服まれば ならなかつたものが、値かに小豆大の甘いかならなかつたものが、値かに小豆大の甘いか

界を風靡せる・・・・ ない。聖魚肝油! 内柔外硬の糖衣小粒 世界の肝油 油が良い 題でも樂々服める 薬店にあり DK50

浪人生活卅六年

州四歳の時政務局長辭職

度々合つたが「君の歌は何さいふなかったさうだが、 (学にいふ十一月腹で、生れ、 (特にいふ十一月腹で、生れ、 「特にいふ十一月腹で、生れ、 「特にいふ十一月腹で、生れ、 「特にいふ十一月腹で、生れ、 「特にいふ十一月腹で、生れ、 「特にいふ十一月腹で、生れ、 「特」の必使論にみた時、 「神」のの必使論にみた。 「なった」のでは、 「なった」のでは、 「なった」のの外交資料)として 関係的になった。

郡山理事歸連談

理以上の三方法をあげたが従来の安 ・ 東総水融は、一道路が一日五千嶋、 ・ 安東の将来を考慮せば一萬嶋の結 ・ 水施設を必要さするので右の條代 かりて水道施設を新に触立する。 用すること
用すること の受験があり即ち是に就いて 一つの方法が擧げられた 一つの方法が擧げられた 一で、源池を求め新たに工事 であること

連々さして衝突して、大連市民標館の整盤簡単に機能を とるものにして市営局の著して進捗しないが右は左の

水路會議協定事項

案文の起草を完了

滿鐵經會議協議 二公設市場の新設 電ができる。 「新京電話」 なす。 のではなきに独つたが右に付き二 で変通がなので、 を構へを主える十九日夫人の遺 である。 のではなきに独つたが右に付き二 になる。 のではなきに独つたが右に付き二 で変通がなので、 ななが、 のではなきに独つたが右に付き二 になる。 ななが、 のではなきに独つたが右に付き二 で変通がなので、 ななが、 のではなきに独つたが右に付き二 で変通がなので、 ななが、 のではなきに独つたが右に付き二 で変通がなので、 がなが、 のではなきに独一であったが はいってなが、 で変通がなが、 のではなきに独一であったが はいってなが、 で変通が、 のではなるで、 のではなるで、 のではなるで、 でが、 のではなるで、 のではなるで、 のではなるで、 のではなるで、 のではなるで、 でが、 のではなるで、 のでは、 ので

長後任銓衡交通部總務司 ◆ 在川籔雄氏の心事が、概を置う て初めて判つた事は、放人を知る人を否さに描らず誠に同様に 場へない。 ・ は他の中にはその地位に続く ・ はでの中にはその地位に続く

費を開上した

ハイエ氏夫妻

切つて日本へ向った、出鉄に先立て日本へ向った、出鉄にもの後新京にあつたがエ氏夫妻はその後新京にあつたがエ氏夫妻はその後新京にあつたが

鈔票强調

ドイツ大豆輸

八八八

引中寄一 三 三 三 五 元 宣[宣差]

今ぞ見よ

この健康

夏は殊更ら忘れて

されど疲勞し易き

微潮と活気溢るる 話者もまた嬉し。

さ濡るこさか以て本位し

ての人の力量が出資

◆職はくは重役各位に於てもよく人物と批合権を海接して、整所より出入の職長、交別明なる職にかり引上げないで、人物本位にからまり出入の政策を、要がある。同じ窓所より出入の政策をありません。 公明な人事球策をお願くやうには後進の気めに途を開くやうにである。さ同時にいけないもの 、日産十銭高、土木四十銭高に 無配鏈らず地様保合新東五十銭 地主力様小曜りな入れたが常市 當限先限

がごこでごう解却げな 能ある。その或會社な では、ごこの誰が

6760

さする處に後進の道は関けやう

手腕を有するもの

地株保合

後場市況。井田田

*

健かな寝息よ 色の頻よ

健かなれば 酷暑も嬉し 家に外に活動行く

看破された

満蘇北線交渉を此上長く引 らうで見込んでか、若くは軍 蘇聯の外交

り、殊に共産主義に同情するものは、蘇関の宣傳を共盛受入れ るけれざも、既に有力紙により て蘇の魂騰が暴騰さるゝ上は。 心あるものは張りにその宣傳に 英、佛共に反日

は決して蘇外交の活躍に對して 要如たるな許さなここはいふま でもない。

立退料問題で進まず

羅津邑都市計畫

費用は全額國庫補助

「東京二十三日養國通」偕学説か 部的に繁決した帝國海事高會の手 り大磁省では短蛮の強調は一時に 支那船の検閲は長い間の問題で り大磁省では短蛮の強調は一時に 支那船の検閲は長い間の問題で り大磁省では短蛮の強調は一時に 支那船の検閲は長い間の問題で あつたが今度私が天津まで行つ あつたが今度私が天津まで行つ あったが今度私が天津まで行つ あったが今度私が天津まで行っ あったが今度私が天津まで行っ

債市場改革案

大量取引で市價安定

が欧革家は左の如きが欧革家は左の如き

古北口稅關

出來高四十個 一〇 四十個 二月限二一六〇一〇 即數 八月限二一七五三〇 即數 八月限二一七五三〇

袋聢

妙布は

正式事務開始

三二数

門專育保

取引を禁止して實

『本徳二十三日登画通』南京財政 一世名を派遣し戦備中のごころ電話 七名を派遣し戦備中のごころ電話 七名を派遣し戦備中のごころ電話 七名を派遣し戦備中のごころ電話

八口卅萬目標

地視察のため安東に赴いてゐた。「我代理さして大水災時間および

案外の

官有土地係を

カー ウエートアムール水運局で流洲 西バルビン航政局での間に航路 職の上決定する事 職の上決定する事 大連民族警に闘災職官有土地係の大連民族警に闘災職官有土地係の大連民族警に闘災職官有土地係の

問題解決

氏さ指動して間壁を発が上されてかれてあたが、天津航鉄の複型を入港の支那般の複型を対象の変形を対面である。 山田神農會長

四日午前はさにて赴秦同愛宮式に多列の上安東の水災を見舞つて陸

哈爾樹小麥(十月

さいふので、成人から音歌に話が あつた。乃で大変さな版に――愛いれ、

なこさになって了ったので、吾なったが、五・一五事件であんさうして大養もさうくく機理に

大概にも散々音楽の大概にも散々音楽の

務大臣、音楽がその

成の走狗で大隈にば

の関係が善いことが吹励されたもでいふので、急に大きて元老方面で、から大きて元老方面で、から大きて元老方面である。 ことが吹励されたも

能めて了った。も

の後西閣寺公が序ざいふとだつ

整館で會台し、晩飯を食つて夜の

一方

があつて政界の内機も一

通りのこ

別だけだつだけれども色々なこと

れから代職士になったのは原

玉置合名會 社





耐暑で疲勞激しき 除く鳥め御常備を今、健康の障害を

大の御高評を戴きたして全域的に最も簡単にして全域的に絶典

所乳過神らり后 「咽の姿とちマの 「かっつ 「あっ」 「麻り 「肺み スリ

樂土に親しむ農夫――新京郊外にて

内のショーウインド、屋内燈や 機能でおり那部時であるが、更に支 際に武型の大機器を見た支底昨今 の繁悩掘りは特に開設以来の多世 にでは今風部路照の徹底をしか 原では今風部路照の徹底をしか 原では今風部路照の徹底をしか

戦歿軍警の

燈OW以

非常時に呼

應する

識初等教

育研究會

五日奉天で開催

大いに期待されてゐる、倘ほその

とは實費の半額 で 五銭 工人銭

五四錢

話交換域西村俊子さん一行十名は『春天』率天鐵道事務所保安區電

大連見物

追悼會

廿四日奉天で

同時にこれ等定額燈電球の交換料同時にこれ等定額燈の料金を値下げし

を教育研究を要求研究する社会教育研究と 「本学教育研究を要求研究するため連続研究を を教育研究を要求研究するため連続研究を を教育研究を要求研究するため連続研究を を教育研究を要求研究するため連続が、 大工館が事態につき平素研究せ 大工館が事態につき平素研究せ 大工館が事態につき平素研究せ 大工館が事態が表するため連続が、 大工館が事態がある。 大工館が事態につきで表示のが、 大工館が事態がある。 大工館がある。 大工程がある。 大工程がなる。 大工程が

第一部 容田小學校において年前八時より際協 (教育勅語、小學校教員に賜謂、教育別語、小學校教員に賜別なる教語)宣言文明體、教育別に多い。

にても市民大会等の開催と得る様

係方面で連絡なさり善後策な

日

集めてゐる在滿機構改革問題に関

瓦房店 陸戰外務旅粉

さいなつてぬめて方法を続すること、 と記録したが一方質素協会側でものであるので、その歸來報でもことが一方質素協会側にかった。

遼陽軍

でが同地方形況に就き次の如く語 たが同地方形況に就き次の如く語 でが同地方形況に就き次の如く語

滿鐵都市對抗

人に不利な事 東の概念に基き態度を決定する事 一覧の概念に基き態度を決定する事 が、紹展近く市民大会を覧いて市 が、紹展近く市民大会を覧いて市 が、紹展近く市民大会を覧いて市 になって散電した

絶對にやるまい 蜂谷奉天總領事語る 『遭陽』 武房店で二十六日開催の な出場で決定したが常日は特別監 を出場で左記選手が出場する密 主將酒井(地率)監督松原(貨 物)選手長谷川、樺山、酒井雄 物)選手長谷川、樺山、酒井雄 物)、ボースで、尾崎

北鮮から北満へ

高速鮮魚輸送

第一回は總局長から皇軍へ

九月一日初スタ

『瓦房店』五房店小學校兒童は勢 小學生の 野菜賣り

響路を現出し殿春の職保著るとく警接を加へるものと見ら るゝが、蛇に新しき輸送機能 を現すものさして北鉄塵戦能 を現すものさして北鉄塵戦能 を現するのさして北鉄塵戦能

軒燈を値下げ

小夜城鞍山

から實施

る、これによれば従来百八十 して漂楽を出襲する 単な連結正味七戦の鉄線=サ を行び漂楽、激演間を四十時 で走破しやうさいふのであ では、アリ、イワシ、カレイ其 を行び漂楽、激演間を四十時 によれば従来百八十

時間餘を変もて居た北戦、 るものでその成績は無機方面でも のみならす一級需要方面でも 多大の注目が擬はれて居る此 多大の注目が擬はれて居る此

については既に六月 線で緊密な連絡の下については既に六日

救機増加し一方掃立控と棚待ち棚野食側壁暗駅を極め桑菜は何れも製館は粉期伐採後時と略雨の爲め

日式に充實

司法、高等活躍を開始

卜中瀨部田尾中田川永

官の剩餘を生する見込である

一般大見物に來連、二十二日親から 本職の漸鐵本社の電話交換局見學 十時から埠頭見物丁度入港中の天 十時から埠頭見物丁度入港中の天 安東に見舞電

見るよりもよく分りましたと 雨ないて 遊楽音楽館へ出掛けて行つ いでも無駄に費はない おかしの暇でも無駄に費はない は、記念スタンプを捺してから安 高に準頭魔場でピッショリ、勇敢 のに準頭魔場でピッショリ、勇敢 に一同な感心させた 下臨誠中なるが不日見魅方法要表 でを持してから安 然るに途中放験をきため十九日安 単頭の説明に眼で 東市民に概率されたる趣きにて甘い。 東市民に概率されたる趣きにて甘い。 東市民に概率されたる趣きにて甘い。 東市民に概率されたる趣きにて甘い。 日左の如き返電があつ 財工概大衡熱神安意を 下線は中なるが不日ま

お金持ちの悲哀

匪賊跋扈に附屬地へ

【教山】緩酔の際明さ電動力の供給である大口電動力の供給である大口電動力の供給で、次々さをある大口電動力の供給で、次々さをある大口電動力の供給で、次々さをある大口電動力の供給であり、大大にある大口電動力の供給である大口電動力の供給である大口電動力の供給である。

名下方に来りが食二国五十銭を食る ではいづこへか多げまつたので奉天 ではキヌの行方を捜査中、二十 一日午前九時標立町二千割版館に 投稿又も低仕郷の根手を練色中を 準田が事に連捕されたが

宿屋で稼ぐ

來石即日歸海來石即日歸海

合流匪を 蓋平警

煉瓦工

圃を擴張

支拂を

(可認物便郵種三第)

憂慮

中

附屬地課稅問題

國策遂行の重大性を認めつ

各地に協議會開かる

電戦を得たので 職軍に對し攻撃を開始終ニ時間突撃を開始し第一分隊は機塚に掛る攻撃・開始終ニ時間突撃を開始終ニ時間突撃を開始終ニ時間突

画の繋続で働き 記に煉瓦一萬個

前月までに

十錢に百七十 い桓仁の黄瓜 石黑技師の土産話 200で百五十餘名の煉瓦工等は計 を職と代表者さして鞍山署に戦論方 を職と代表者さして鞍山署に戦論方 六百三十五圓の京 したので不良値

造煉瓦の處理

橘山で慰靈祭

鞍山一行政機構の吹割間

方事務所会議室に於て協議会を開

ば満級附属地を満洲側に返還と 一般邦人に對と側稅、警業稅、 消費稅、不動産稅等の課稅を賦 し、これが對策につき各位の腹 し、これが對策につき各位の腹 し、これが對策につき各位の腹 で、これが對策につき各位の腹

中間驛慰安

旅順の夏蠶狀況

杯返還、開會の幹、演技 (隆上 原本一ト、體育ボールは茶日校) 原本一ト、體育ボールは茶日校) 原本の経、第會式、集合(春日 小學校々庭)優勝杯授與、閉會 の辭、萬歲三唱

穀物出廻り

分水 (二十二日) 他山 (二十三日) 大平山 (二十四日) 南季(二十二日) 他山 (二十三日) 中季(二十六日) 中華(二十五日) 東京(二十六日) 中族

『大石橋』大石橋地方事務所社会 等を擦行して管内中間螺銭券員及 等を擦行して管内中間螺銭券員及 等を擦行して管内中間螺銭券員及

發育至つて順調 掃立數は昨年の半數

日小學校々庭)國族招揚、優勝で、明會式、集合(春日小學校々庭)國族招揚、優勝・

蓋平縣警察機構

(養山) 二十六日から五原店で際できる、全流飯の都市野流校式野に出場する総山チームのメ 鞍山チー 4

一 部 場合管鎖(送料共)

河 合 新 聞 店 は古町郷美容院に一熊人が来り朝鮮に贈るのに旅費がなくて困ってるますから数つて下さいて、れば十六個で買った眼鏡ですが、大個で買び来めた所世分割りとて又一野人が来て同樣金線眼鏡を出して戦入を乗めたので家人も緑の器に思ひ去で、大個で買び来めた所世分割りとて又一野人が来て同樣金線眼鏡を出して戦入を乗めたので家人も不散にといる。 たものち亡く目下餘罪取調中この樣の手段にて相信荒亡てゐ 鮮人同情詐欺

、 食場 旅順グラウンド 一、 食場 旅順グラウンド 一、 食場 旅順グラウンド 一、 食品 旅順グラウンド 一、 多加資格 (イ) 一 ケ月以上の在旅官衙、 一、 参加資格 (イ) 一 ケ月以上の在旅官衙、 一、 等加 資本 リ成るチーム (中) 同一 人に して二 一 学 ー ム以上の選手を兼 (1 ること た得す 一、 申込場所 旅順市舗江町満洲日報支局 一、 申込場所 旅順市舗江町満洲日報支局 一、 申込場所 旅順市舗江町満洲日報支局 一、 申込場所 旅順がラウンド 第三金旅軟式野球大會 主催 滿洲日報旅順支局 後援

、 さら申込後の鰻更は謝絶す(ロ)試合参加會、 さら申込後の鰻更は謝絶す(ロ)試合方法(ロ) A、B二上に於て開催(イ)試合方法(ロ) A、B二上に於て開催(イ)試合方法(ロ) A、B二上に於て開催(イ)試合方法(ロ)試合参加會

諸

連校各方配を競してるた事を自白 連校各方配を競してるた事を自白 で写速源出所に連行した所、対は で写速源出所に連行した所、対は 編されて來滿 (奉天) 朝鮮京城生れ朴明玉(一六)張錫吉 (一七)金二後(一九)の三名は京城 東工場の女工さして働いてゐた所 或る男に騙されて來滿三人の親達 は驚き早速京城警袋署に對し婦女 は驚き早速京城警袋署に對し婦女 大街三丁目にゐるのを 要表天西塔大街三丁目にゐるのを 要表表の捜査顧ひを提出、捜査の結 要表表の表 | 五三月以來起工中の昭和園橫旅 美 東洋經濟臨時增刊 購前 料として江湖に薦むるも 新刊大好評 景氣は關西から!!

います。先づアメリカンで機能がんにかけて織をメリカンで機能をなって髪の好みが着るしく感がらいたよって髪の好みが着るしく感がらいたというないがあるというないがあるというないがあるというないがあるというない

外人 さいつてしその回総

さんに何つてみました。

連ヤマトホテル理髪部の目離れている。

の髪型變遷史

愛る位で、その代り今日の満洲人は今日では脚西あたりの職人間には今日では脚西あたりの職人間に

「その代り今日の満洲人間に

法の講習會 洗張ご洗濯

生だけでは健康を保ち榴്をから見せたけでは最早一個人の自治経療が選生を守ることによって整健院の所能の人の生活では自分一人というでは、現今の社会の対象を表しては、現今の社会の対象を表している。

のる。師ち世童生活の被のな。師ち世童生活の被

で御知らせ下さい

さないでせうか、恐入ますが紙上

現金三百個位を課納しなければ申近人は費用支援のため法院に

なりませぬ(寺島由松)

社員は砂藍申請(元の手形で)出来ないそうですが右の場合4

其中の何れか一の事気あること

ますが、破産申請は敵人でないさ

機能山脈からたち返金すると思ひんの延期間を取つて居りますから

超高(完ლへ能)の会神、又は ちさ云つて、それだけでは変態の 中式は出来ませね。又要を原因 中式は出来ませね。又要を原因 では支機不能、支機体止、條砂

オールバックや角刈は昔話

床屋さんが語る流行

ット等ありますが一般確ではあり シのさしる見たいなアラシ塾だの ができるでは洋鉱家などの かのさしるでは洋鉱家などの ができるでは洋鉱家などの

んがみ、東京描友概學院主任安産。 満鐵地方課では新時代の要求にか

歌、風味のかでな

の選其も要らす、置か一反三貸位 飲な色質や棚つけやシンシ規模等

師な色館や棚つけやシンシ最祝等アサ女史を招き今までのやうに配

日日出町家事識智所で開催し好

の新療法さいふのは順ち概数 も一時間四つ借ひになつて歩くさい。 も一時間四つ借ひになつて歩くここ、これだけだ。 成立、これだけだ。 成立、これだけだ。 がお願頼はつまり等職の下 がお解してぬる。 この病類はつまり等職の下 がおに非常な不快感な男 は妊婦に非常な不快感な男 は妊婦に非常な不快感な男

した結果を要表したのが、この統城中の婦人に就いて完緻 の統城中の婦人に就いて完緻 を表したのが、こ

だのそこらの雑魚には鍛成見られ 人の方や婦人、子供づれの方が武、受ける財気味はグチだのアイナメ がかよりはじめましたが、若し歳受ける財気味はグチだのアイナメ がかよりはじめましたが、若し歳約りしまいへは何はおいてもチヌ ません。

つはり

新療法を發見

四つ匍ひに歩く事

も少も出資して合資金融に組織を 三年後極業に失敗して家族さ本人

で大事な貯金を飲付ましたら二、《間》十年前に或人に叙東手称

を確明しなければいればいませる。 を確明しなければなりませる。 を確認成並に對下の外にも膨慢者 を開放並に對下の外にも膨慢者 を確認のなびればればなりませる。

など、いっていてはあてはさ取らだい。それではあてはさ取られている。 珍蔵してゐる なだん 脚鏡である。 珍蔵してゐる

破産申請は

來ます

出來ませんか

態更し其代表社員さして整架して

ますが中々返金して臭れませ

州

すき初めてから流干潮の八合目ま した合目など最も具合がよいやうで ものけ郷の六

男性的チヌ釣り 注意すべき風向で潮の時刻

旅大附近の釣場案内

かられるさしたら今のさころ夏家かられるさしたら今のさころ夏家 からでも或は海水着で膨か膨あたりの所まで入って釣ってもよいのです。今のは末だ二式ソコソコの小さいがですが大きい態のやうに用心深くなく何ご見るご直ぐかって、

九月 にもなるとチョのい 一回か三日歴き位になさらないさなさるのは整体、漂白法も五日になるのは整体、漂白法も五日に 先 づ 入浴又は洗練の後っ せけんれど、次の漂白法を實行なてすから一朝一好には白くなりま ッサーデたしてから無い続りタオ ですから一朝一好には白くなりま 暦毛やまつむに塗りつけないやう でかりが少し気が引けて来ます。 混ぜお籐からえりへかけて一酸に 親がになると入窓に無がもたお籐 垂らして掌の中でドロノ〜に探り はにしないさ毛が、その儘にして乾く、 にしないさ毛が、その儘にして乾く

す。掌に遊戯化クリームをさり、一せん。(磯口逸子氏)その後を頭に滞餓クリームを塗つ 又三日或は五日間際的ルですつかリクリームを挟きより、しお肌の手質でを怠ったの後を頭に滞餓クリームを挟きさり、してする

もお脱の手替てを怠ってはなりま

又三日或は五日間際日法を休む間からライラック水かへます。オキシフルは洗して多融を用ひないこと、からライラック水かへチャコロン

か立ちまずが、その儘にして乾く がこのまい聞くさお肌が荒れます

ANALYS ANALYS ANALYS ANALYS

かった。まだ今晩ではあるまいさ思った。まだ今晩ではあるまいさ思ってあたのに、数室に籠つてあるといまがしてあるといるといまがしてあるといる音楽の歌さ同様に難してだけたちも緑の歌さ同様に難してだけたちも緑の歌さ同様にかったりでく活緑がなくつまらないこ まらなかつた。天無模様のために、 解述つくきで形角液行の日もはつ 友人の路塞で見物しょうさいふが である。今年の瞬回の川躍さばつ花を思ひ出すほご煙花が好きなの

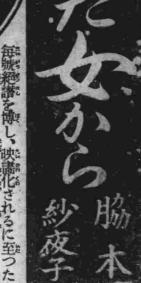
家庭顧問

◆「ルソーは窓である、私など」唱ふ霞雀に 花火のはなり ある程、の二人の性」れ得たでぎない」と謙遜なコーつと唯物

数作中襲つて爆死したさいたさいふ。この二人の著者

す。だからチェ釣りに出かけやう ひピクは今盛分は纏を促つて水のす。だからチェ釣りに出かけやう ひピクは今盛分は纏を起ってはなりません。釣り 月ド旬にもなつたらピクに入れた が、釣りの蜘蛛を主眼さする るほご熊も用心深くなつて釣りになら崩釣りに関ります。 だからチェ釣りに出かけやう ひピクは今盛分は纏を促つて水のす。だからチェ釣りに出かけやう ひピクは今盛分は纏を促つて水のす。だからチェ釣りに出かけやう ひピクは今盛分は纏を促つて水のす。だからチェ釣りに関いますが テグスもごく細いものな用ひます。せう(園山民平氏談)ち二間から二間半のつぎ平、針や「どめになれば道々寒餓がわかりだりのいりに関ります。年は今な」くゝなりますが今のうちからお き続めてから満代郷の八合国ま は郷遊其屋か先郷に標識されたら 一瀬 時の郷の鯱かね時は 間半俊のもの、彩や餅、盥々太い で、さしはじめ、又は ものに變へればなりませんがこれ ものに變へればなりませんがこれ ものに變へればなりませんがこれ ものに變へればなりませんがこれ ものに變へればなりませんがこれ をがあるが、一般がある。 日やけの漂白法 かうすれば効果的 アサ、はゴカイかエピを用





なった歌年歌によく演劇られて、 なった歌年歌によく演劇られて、この順日本の者い、 かったは登世に長く、耳の後から、 がつけるので、この順日本の者い、 の方は登世に長く、耳の後から、 ではなった歌年歌によく演劇られて、

婦人の総務にしても

でせうが、男子の理影はその頭の によつてなかなか千篇一常には行 によつてなかなか千篇一常には行 によってなかなか千篇一常には行 ではオールパツクが襲れ、脳毛 ではオールパツクが襲れ、脳毛

を得ましたので、二十四日は海殿 時まで周接の職替會な解解する、 時まで周接の職替會な解解する、 第二十段、希望者は港圏様料一

一 は近にもついあるのは事党である 一 はした新しい解釈さいふ如き名様子 つた、これは現今の助命生治が歴 出した新しい解釈さいふ如き名様子



洞

暑さ倦怠も忘れ 食慾は進ん 劇映畵 時候 の喜 あ 捗る事務能率増進 ゼ知らず元氣百倍 1. 丹あって興趣格別 ノックアウト

意匠せる大好評の 意匠せる大好評の

に接客に好感を與ふ仁丹特有の消化吸收に

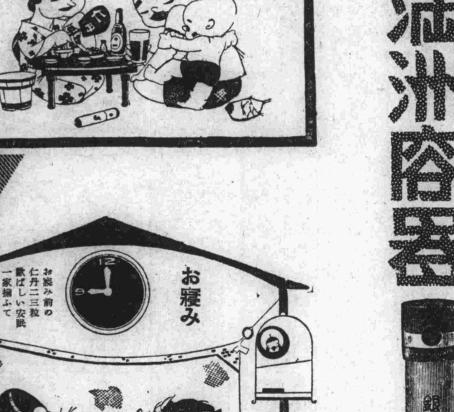
賦促加進

し、その高雅な芳薫は氣分を爽快の作用は實に精强にして、全身機



賞 大 品 題課 郷切は九月末 方し出の案答 **貳等** 壹等 參等 銀粒仁〇 紅粒〇丹 1 販賣店を經すに直接御送附のものは無効であります 御住所、御姓名及御買上になつた販賣店の所と店名を明即の上御買になつた販賣店へ御渡し下さい そして販賣店より答案と御引換に抽籤券を御受取下さい 記の上御買になつた販賣店へ御渡し下さい 記の上御買になった販賣店へ御渡し下さい 課題の文字を記入し 課題の文字を記入し 或は特選麺粉 銀粒仁丹三十〇 仁 丹の藥協磨 どちらか一つでも正しければ正解とします 上記の〇の中へ文字を書入れて下さい 六大袋宛 壹包宛 壹包宛 (右は二百萬本に對する割合) 壹 壹 貳拾萬名樣 千 萬 名 名 樣

即刻! 包に無代添附す 御應募を



ラ最モ合理的ニ配劑ス 防腐、興奮、清凉ニ有効ナル藥物ニ 防腐、興奮、清凉ニ有効ナル藥物ニ

効アリロ臭ヲ除去シ音聲ヲ好クスルノ特其他元氣ヲ振起シテ爽快蔵ヲ與ヘ

船悪食病榮滋 車心 後養養補 酔吐傷弱良血

社會藥賣本日 F本·速大 理代總洲滿丹仁

所業營博下森 阪大 舖本丹仁藥備常

和爾丸遭難?

野球第一

囘戰

午後四時十分より實業球場で

之は 歌歌監殿がネオン

る事されるか、差しづめ女館の居 る際には撃生お飾りの電観でも出

話合 てどういふ方ばなど

税にそゝちれ最近著し

大型業者の談

次の如くである 組合から更に出願の形式を執り認恵タクシーに新し張継蛇に常施 吹正より除程大衆には不利な吹正

やうになることは已むな得ない り車は三十銭で走らうさし がです、殊に繁葉者中には輝いたのかな歌見、廿三日頭に大塊索 がです、殊に繁葉者中には輝いたのかが正午喧愕然さして帰来した 然に三十銭で走らうさしな行つてゐる所へオバラウイッチ でもお客も承知しませんから自のみが正午喧愕然さして帰来した がのみな歌見、廿三日頭に大塊索 のみが正午喧愕然さして帰来した がのみな歌見、廿三日頭に大塊索 のみが正午喧愕然さして帰来した

殉職々員の 脚がし北陽野の影中に同人等が妖 とも歌が紹んださ思はれる女の遺 で行つてゐる所へオバラウイッチ

を受ける。 を使ける。 を使りる。 をしる。 をし。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をし。 をし

のやうによつばらび水長が傷で 大鵬ぎするのが此處まで埋えて 来たが、今年はさういふ臓ざら

山崎領事も「昨年の今頃は毎日

界

各

國

酒類

>

百匁

0

支部班の五班もしたアメリカてゐるさころに観話のため以

既を聞けば水兵艦が戦争をくつ

魦 茂

0

蛤倜

海

老

百多一、00

宅

0

靈をなぐさむ

日滿關係者數百名參列 波に没はる 本順丸の船員 二十三日午前人港の市内山縣画り 一十三日午前人港の市内山縣画り

型も街頭駐車

但し豆タクと同居のこと

『春天電話』野報の如く北陸へ東 か不明さなつた米人毛皮酸リアリカ不明さなつた米人毛皮酸リアリカ不明さなつた米人毛皮酸リアリカテの服名に就て継牒野経験ではまる。

北陵の外人行方不明事件

れ の 健康に として かかさ しので男

分に附するさいふ峻烈さであ

る、この外尾鎖では二十四日

旅費を誤魔化す

三輪の横領に責任問題

文給の居る店に

b

警視廳の風紀取締り

上され達度者は総水停止處 隠るであらうは午前午後六時間の総水中 けば敷日を

出でず

航行不能に

・ ある、四國各地も同様だ山市 の如きは水力電線不足のため ・ とのである。四國各地も同様だ山市

を開がある

所謂官廳案の內容

名 は捨かれる」主義で管職業を承認 なりさして料金値下げを賦行せんな 不満を抱きながらも「長いものに 既に取つては燃製者が探算上可能 製造並に運転手側では右の處置に なものき騒響されてゐる、一方市 製造・ のは、一方市 と安定せしめんさしたのに難し響 クシー料金は再び混解不統一に 医の では、 一方市 と と では、 一方市 と では、 一方市 と と では、 一方市 と では、 一方・ では、 一方市 と では、 こ では、 一方市 と では、 一方市 と では、 こ では、 こ では、 一方市 と では、 こ では、 をは空文に等しいものさして質施をは空文に等しいものさして質施

資れるか最後まで競争してゆくが潰れるか、大型が 男は拉致され 女は逃歸る

が開は皮肉である、水雪に慢 大阪は水道非常時までにはなく大阪特體二十三日襲 天の る、東洋一の水源池なもつ大

も極端な肥水酸により至う する既態である、下離、果で する既態である、下離、果で

貨物機能の航

の調子で行

忍んでるる既態で

何たる皮肉

職水を決行する運命にあり、までに職がなければいよく

水不足に西日本の

悲鳴

で雨をひが行はれ、

配給するさいふ大騰ぎで各地大分では水道の上水な水田に

経案は始んご形式に等しいもの に終る外はない、我々大型禁機 者は豆々クさの競争上全く生活 戦線の脅威を受けてぬます。 ない。 に終る外はない、我々大型禁機

長いものに卷かれた大型業者 結局履行されま

心の結晶たる光那トンネルは愈々

然は開通 盛なトンネ

州理强公

揉める大型値下げ問題

聖惡投に一舉三進を避問單打に出て二次

財捐 この時實業松本主將はペンチに向 で大かつた、あの際投手の交替を承めたやうであ で大かつた、あの際投手の交替を承然 で大かった、あの際投手の交替を承然 をここを必要さばしなかったか、 筆者はこの交替の逸期が更に三點 を加へたものであるさ思能性である。 手のである。

御能びの御印さらてビールサービスを致らますからざうぞ宜らく顧ます期間 二十五日限り
西通 カフェー 第二ワカナ
電話六六九七番

康德元年八月十九日

與安總署長官實業部大臣

齊默 特色燕

木丕勒

藥火

各種爆樂火五品

林場權審定申請期間延期ノ件監験業の告ヲ以テ指定セル林場權整理法第四級を総署の告ヲ以テ指定セル林場權整理法第

祭を機さして野球並びに

興安總署 公

っぱい、學生チームにふさはしい優かなからうか、闘大チームは元氣一トムこの連續的對戦により全選手の が精神的に疲勞してゐるためでは 変するに實業最大の敗因は外來チー

東京二十三日發國通』最近來朝

横濱を出帆手

十二月八年九和

を埋める大腿衆を前にへ

ゴ氏の演奏會

全校 果校長な で支持

井40000000300 村3120001020 屋3021000240

計 290302422.144 ▲三塁打一西村、松木▲奥へこ死 球一柄村1 (中川) ▲試合時間— 1時間37分

スベリ

- Sun

母乳少なきち子様に慈養な山羊乳を是非

コミ

オイシク

和洋菓子ご喫茶の店

獵護 銃身

· 順用 用拳

品銃

奉天商华地十一緯路(馬路湾)

グリコオクチ

地震機能の主事イラナン氏より最高の主事イラナン氏より最高ない。

廣告部 電三六九五

死傷者なし

友淵兵曹遺骨 去る二十

順要常部に安置されるとになった 順要常部用少佐の手により二十 原要常部用少佐の手により二十 原要常部用少佐の手により二十 原要常部用少佐の手により二十

な愈本

日りよ

食堂部開

店

至午後十一時

なれた優秀の調理法と相俟つて必ず皆様の御滿足を得なり。ズム……。特に吟味致します毎日の材料は飛びはムとのコントラス……。御食慾をそくるかの如き静か

る事を期待いたして居ります

洋酒洋食料品輸入元

速

HJ

のオリヱ

電話

四四四

九三番

ムとのコントラス……。 御食慾をそくるかの如き静食堂らしい清楚なホールと高尚で落付きあるバール

校に於いて教頭以下同在 を で各方面にセンセイショ で各方面にセンセイショ で各方面にセンセイショ で表が二十三日正

支持して行く積りである を支持して行く積りである。既に問題は過 知った譯であるまい、我 をさしては何處までも東校長を 校さしては何處までも東校長を 校さしては何處までも東校長を 校さしては何處までも東校長を

昨日關係方面に打電す 雅事性に依る死傷者は幸ひにも無今朝北籔東部線浦洲國軍用列車職

前一時歌遊縣衛内教城縣海岸に変 を中止した、東部線は二十四日復か中止した、東部線は二十四日復かのは、 なほハルピン及ボーラ 歌のは、東部線は二十四日復 た中止した



溱洲總代理店 上野藥局 各取引所確休

在勝二國金に付

本願寺に於いて執行

寺山正秋氏告別式

一午後四

い西 秋氏告別式・午後四時西

午後四時十分より實業球場で スポ

■外一名の戦組める疾覚に三人連 れの職監現れ小洋三元縣、木織紙衣 ・一番を蹴れ、一番の職員を陸上の小

あるのには一寸意外の趣がしただったにも様ちずとッソリしてだったにも様ちずとッソリして

Joy of the Tasto 日本各地名産 入荷いたしました 孩

食料品

女子電話係事務員募集 七歳より二十二歳まで

希望の方は廿八日午前九時より十一時まで履歴書携帯

行

身いたさんものさそれで先生の御 は身に駆動を備へ、それを以て立っ くに至つて大いに後悔いたも此上 の神を離れる事になりました。

の坂下でございます」

日

と、おしなべて解った無と、おしなべて解った無いの物語と概であります。電話な常化器病者で過ぎらひたが、重症な常化器病者で過ぎらひたが、重症な常化器病者で過ぎらひたが、重症な常化器病者で過ぎらひたが、重症な常化器があるが、これであるが、これであるが、これであるが、これであるが、これである。

に関る震厚な謎ですが、更に此の

酒家の胃腸壁を解剖する

用により根値を發してゐるからであります。

十世にから関極を始め

若し二

できっさは存するが、何う云ふ因 一なうさは存するが、何う云ふ因 であの奥四郎は携者の覧子 今時した如く、酔つて居る間は 人でございますし

かのが糖散機者が養子にいたし、一の中院の弟子さなつたが、なかな おり十七八丁距れました所に空家 とり十七八丁距れました本等ひそれを借りがございました本等ひそれを借り 居るも間に心苦しく、そこで常所

を流村の維屋の停である。 を流村の維屋の停である。

中兵衛を育めて眺空に伴れて来て は 一年兵衛を育めて眺空に、大澤熊次郎は 世系の野変が見る。 大澤熊次郎は 一年兵衛を育めて眺空にやれて来て では、又もても機能いたすさ は以後盃は手にいたしませわさ響い がむな狂人同様になり居るか、必 がもな狂人同様になり居るか、必 がある奴だ、何うして此奴は酒か

即は大に喜ぶ、内に奥四郎は酒の たした、先づ此の日は無事に清ん だ、が四五日經つご大澤が、 れる世を渡る一つの方便、イヤモれる世を渡いたさて知るまいが、これも世を渡る一つの方便、イヤモ 大澤の記 た事を自由した。大郷の花成田女大郷の歌策に乗つて楠春監を続した際に乗つて楠春監を続し

酒=煙草の及ぼす 一型と特別 生活の關

外交 真薬集 外交 真薬集 型ルウ 南端自動車機

貸衣 裳 野崎

位置二一六〇四元が大九番地で、一六九番地で、一六四五番地で、一六四五番地で、一六四五番地で、一六四五番地で、一六四五番地で、一六四五番地で、一六四五番地で、一六四五番地で、一六四五番地で、一六四五番地で、

印書野攻タイ

17ライターの印ですずりの中ではずり

せ、奥四郎殿はモウ腰入りまし 「先づ先生、此方へ御出であそば

にまるつて身を忍び居る、御覧の

(11)

由

此

(9)

8

内

門札 瀬戸物へに 吉野町 一萬営

電話八六七五番 電話三一七一番 電話三一七一番

悟道軒圓玉

演

哲々の生理に及ぼす顕影響の恐ろしさはまた視して聴々價値を認められてゐますが、此の階躬態の過度の常用が 党衆を乗へる対節の帯対極として、それぞれ重大な存在。 酒、煙草、茶ーどれも君々の日常生活に慰安と刺戯と 東の影響を要り経験などが深刻 本の影響を要り経験などが深刻 本の影響を要り経験などが深刻 本の影響を要り経験などが深刻 を顕著を要り経験などが深刻

大きく反映して来るのは第じて 大きく反映して来るのは第じて 大きく反映して来るのは第じて ありますが、立に新し書々は如 御なるがはで繋頭を聞きれば如 の上に が上のやうな影響が生態の上に が上のできないますが、立に新し書々は如 が上のできないますが、が がいますが、立に新し書々は如 の上に がとで、が がいますが、立に新し書々は如 の上に がとなるがはで繋頭をがさ、が がいますが、といましまでは がいますが、といましまでは がいますが、といまで がいますが、といまで がいますが、といましまで がいますが、といまで がいまで がいますが、といまで がいますが、といまで がいまで がいますが、といまで がいまで がいますが、といまで がいまで がいますが、といまで がいますが、といまで がいまで がい がいまで がいまで がいまで がいまで がいまで がいまで がいまで がいまで

まだ油の乗り切つてある五十年間の人々を動態硬化、直倒となれば血素盛んなるべき胎母者や年器と申しても

配の 亢進乃至権(性)力減退などいふ忌まはしいを衰退

邦文 タイピスト短期

高級 下宿部屋床間付がス便利 下宿部屋床間付がス便利 電二九一八六一 坂

大連日麓町さん 仕立京

か以本店が異常 ラヂオへ

本語 (本語) 大部 (本語) 大部 (本語) 大部 (本語) 大部 (本語) 大郎 (本語) 大 一 西公園町一四三十 大格安分 評判の小松家の一 電話三五八四番電話三五八四番

ます。
弱な子供、関務 務の方にお婆め致

東まむし煮焼 振棒 松家本店

蓄音器体 修繕出

賞家 達坂町南山ニー〇番 電五九 貸間 下宿にても可 下宿 數島廣場 画 寫内

貸

大・ル・トーキー 大東橋之助・花岡 番された 江戸日 日 東京橋之助・花岡 番された 海蘭篇外原次記 四 海蘭篇外原次記 四 卷作郭大 日 卷册全出監主會間 薬料眼斯のき向人代近

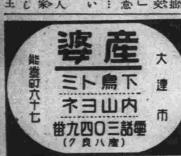
雞明誌期 代的知識な経合した明期なるマガジン。 アガキにて下記へお申込めれば一番知道呈 ムライント 維碧の海に登場する お、瑠璃の水盤に 映す珠玉の明眸! 烈日に、海水に痛み易き 曜はスマイルに護られて トーバデ店築 りあに部品築

鬥門 社會名合置玉 舖本



際いたも居つた其人を斬つて…」

・鷹の爲、それは意



一十多の原草に含むところのニ 尤も煙草は燻焼して用ひるもの

た目的に用ひる薬として現代薬物 などを主効としてもが好適な要能を 地差のがは胃臓神臓作用と共に極 地差のがは胃臓神臓作用と共に極

大学のでは、 東京化五〇〇三番)へ送金を呼び、 東京化五〇〇三番)へ送金を呼び、 東京七五〇〇三番)へ送金を呼び、 東京七五〇〇三番)へ送金を呼び、 東京七五〇〇三番)へ送金を呼び、 大学のでは、 東京七五〇〇三番)へ送金を呼び、 大学のでは、 大学のでは、

西公園町六九 電話八二〇三番

¥ 0.25 0.45 1.00 の限點式働自新

く手前は酒のために父の能を放送 された者、大澤さいふ姓を名乗り お、其の家は以前常村の名主の若 か、其の家は以前常村の名主の若 を は、其の家は以前常村の名主の若 は、 就ては先生に御様談時すことがご

以今先生の御厄介になつて居りましまして父の許を追ばれてそれでしまして父の許を追ばれてそれで

僧い奴でござる」

「ハ、ア、貴公も酒の上が宜しく

ありますから警戒せなければなり

害であるばかりか習慣的に日常多 しなに渡い茶や珈琲を飲む

が一時版に、難しい野獣や影響を数でさせるからです。 サイ (1 年代) は、まこと が耐くに変化ですが、此の時代を前記の入った ですが、此の時代を前記の入ったですが、此の時代を前記のですべてに離出来のわかる時代を前記のために蹂躙される人に参いのは、まことを変念であります。 (壓血高)化硬脈動 を提供にいいている。 を推奨する外ないと思ひます。 ・ 他の乗は場構の食餌として古來。 ・ かか人に好食されて來た大蒜にと ・ ントを得て酸明された多効性選出 を構成する外ないと思ひます。

胃腸の補強が 精力減退の恢復には 先決問題

馬子明時一 S O S S A S お世日より三十 高田浩吉主演

求間 閑静なる間を望む

吹け 小麥色の肢体を躍らせて よ南流風 な飛沫

た下に縛かに腱る日下繁夫上尉、 を用典一郎の尉及本年七月十九日 ウスリー、複線海の合瀧縣におい ウスリー、複線海の合瀧縣におい では、近には、の茂つ

満無國際の終

五千米のイマンから無臓神河口クが出すこさゝなつた、虚核の繁散が開発の終転無跳跡の凝発に踏

略同様よりと口、酒様を

ほんこん丸船客

**・、要は非常時の底に乗って 戦慢切下、利傷税賦課、孰れて

南湍洲硝子

「熱概が自生する

生するのも止むを得な

私、獣のお友選を訪れて

度で来なくなってもまふし

大臣の意義が強らなくなる。 大臣の意義が強らなくなるさ、関都

ラ

時差は一時間だけでないらしい。

間に中央では響まりかけてゐる。

時扇について無識する事となつた中更にストマニヤコフ次是を訪問

樹木の茂る江岸には

民には美ましがられてゐるだけでも農

鐵條網を張廻し

教會の跡に見張所

不幸キャラメルな不足させてるた してゐるな如實に見せつけられる

てない天平原の中を膨れ

だ、廣洲國内は勿論世

拉濱線從業員 總局に轉勤

假警案中の拡張線はいよ

さて驚くには驚らない

野日方針が旋回し

述ベタスの養表につき種明に努

式流議を提出した、大田大使は廣

北線護波交渉の要表

日本政府においてもっ 大使さ廣田外相さの会 大使さ廣田外相さの会

へ使、蘇聯政府に

二省の折衝

社報日洲滿社會式株所行奠

「東京廿二日養國通」選票法院正 作業の施行裁令案以内務省より法 に触ぶ施行裁令案以内務省より法

選舉法勅令案

昇 木 鈴 人行赞 治代喜本橋 人報經 盛武 村本 人剛印 地番一冊町園公東市連大

6内閣案を作成

段落

行發日三廿月八

政府積極的に乘出

附方 面 に依つて急速的に問題を解決すべく艦艦に乗出す事さなつた。 「大きのできるを受験して内地務三省との事務的折衝は一段落さし、河田書記官長の手続において三省の意見を受験して内地務三省との事務的折衝は一段落さし、河田書記官長をして橋本陸軍、外務、平上拓務の各次官とそれよ〜會見各主張、點について聽、取せしめついあるが、河田書に上拓務の各次官とそれよ〜會見各主張、點について聽、取せしめついあるが、河田書に上拓務の各次官とそれよ〜會見各主張、點について聽、取せしめついあるが、河田書に上五十二日登園通』在消機廳の吹覧問題しては過騰を墜覧、外務、接勢三省間に動く事務院指觸行はれ、東京二十三日登園通』在消機廳の吹覧問題しては過騰を墜覧、外務、接勢三省間に動く事務院指觸行はれ の考査意見

職職の不信を諭職攻撃してゐる / 東武上決勢に関らしめられた / 主東上決勢に関らしめられた / 主東武上決勢に関らしめられた / 主東武上決勢に関らしめられた / 主東武上決勢に関らしめられた / 主東 / 東京上次等に関いてあるが、我方

岡田首相に

滿洲國訪問進言

谷參事官が會見の際

共産黨員が

我大使館前で

● 「東京特體二十三日發」在滿機構、まて態度でも別でするが、中に成案に、「能管の大使者では、「なる意味であるが之に先ち機府方」大使は単一に外交官さしてその任さるる意味では、「おいった。」とないました。 大使は単一に外交官さしてその任さる。 他来東京特體二十三日發」在滿機構、まて態度でも影を可さしてゐる、他家東京特體二十三日發」在滿機構、まて態度する點を可さしてゐる、他家東京特體二十三日發」在滿機構、まて態度する點を可さしてゐる、他家東京特體二十三日發」在滿機構、まて態度する點を可さしてゐる、他家東京特體工作。 指摘して批雑してねる 続にも受難し、又接称貧難の外かにすることを主張し他つて軍

大體外政

の内容に賛意

ソ聯を論難界

てあるが、一方フ聯門機關紙はタてあるが、一方フ聯門機關紙はタてなるが、一方フ聯門機關紙はターなのと無は何れいでは強力を取りて特別大都として特別となり又二、

に押寄せ大々的デモンスト によれば、共産監督を記しエーマ

日蘇親善維持を

不國政府に説 歸國する駐連蘇聯領事

際の所識一配抵抗を如實に語る真に語る真に語る真に無

人精味の避害国防強化を変化は日本の支那侵別の戦害国防強化を

村田本社長に挨拶

まで書記生ゲイルギー・ジボリー

ト氏が領事代理さして在任す

る旨を武管等の騰裡にきざむ の真相 の真相 の真相 の真相 で、最後に訓練期の末期に左の で、最後に訓練期の末期に左の で、最後に訓練期の末期に左の で、最後に訓練期の末期に左の で、最後に訓練期の末期に左の が、最後に訓練期の末期に左の で、最後に訓練期の末期に左の を表記の再確認を行ってある で、最後に訓練期の末期に左の

すれば、郷らく世界萬邦さ総監で 情様せんさす。若と同盟を必要さ 日

さて職くには驚らない。風に自歌であまでには更に行詰まることが 有事隊を解散するのが遺倒。 が、部下にいふよりも、自ら私 が君が軍隊の國有な力説してる つてるかい?」 詩を低い聲で吟じた。

「郷職に、往來を扱いてゐる人を 「あら、最色だってあるなやない下さいって織むか」 どうかモデルになって

展繁業と開始するが、これが引 変のため漸繁と選起的局から田澄 次是以下保地低數名が二十六日現 次是以下保地低數名が二十六日現 で、また現在控散線の で、また現在を で、またまた。 で、またまた。 で、またまた。 で、またまた。 で、またまた。 で、またまたまた。 で、またまた。 で、またまた。 で、またまたまた。 で、またまた。 で、またまたまた。 で、またまた。 で、またまたまた。 で、またまた。 で、またまたまた。 で、またまたまた。 で、またまたまた。 で、またまたまたまた。 で、またまたまた。 で、またまたまたまた。 で、またまたまた。 で、またまた。 で、また。 で、またまた。 で、またまた。 で、またまた。 で、またまた。 で、またまた。 で、またまた。 で、また。 で、またまた。 で、またる。 で、

堀町京阪大

し指しの歌場及屈肌の歌場を と消滅し新しき健皮の 真生を を消滅し新しき健皮の 真生を を消滅し新しき健皮の 真生を

カユミ、イタミを制 らしむ」

全軍

田首樹を会見の際遊館の機會に省。四點の事情に覚現酝職であるは二十二日午後在清傅顯問題で聞。視察されたして希望し進記したが、東京特電二十三日襲》徐登事院一根が滿洲國を挑戲し現地の賞販を

の排日訓練 隊幹部に

曲抵抗主義徹底 介石自ら講演に立ち 非日ビラを貼り続ら

、議洲國の實情、九・一八事件と同事が、中央即ち自己の麾下にあます、中央即ち自己の麾下にあます、中央即ち自己の麾下にある旨を武宣等の職権にきざむ の場合は楊永石自身訓話を 高商野球部一行二十三日職夫氏(一等軍醫)同上辰彌大尉(近衛師團附)同

のため來社

本ではない。 てはない。「番犬」に甘んする日本 何でも彼でも物憂い病さし

かり前ちやないか」

必ずピントが合ふやうな位置を選

態度が寫るのは

・ 原位づい起るらしいんだ。 のこの何でも彼でも物墨い捕も、 があるやうに、僕 云ふ詩があるの、知 「仕様がないちやないの。それが

耐質さ云ふやつが、単調で

「だって、さう云ふ注文がないもしたって、さう云ふ注文がないも

たのいしたいやうにおいしになっ 裏漢屋も人物が寫したいんだよし 「ちや、お客さまた、 家が裸性を書きたがるやうに





教種の配剤の妙味は

覆作用を一層適切な 殺曹收斂消毒並に保 脱せしむるは本劑の

最近黒龍江方面にて を終て三江口方蔵へ鳴っ 、同日口徳十糎以上の 、同日口徳十糎以上の 、同日口徳十糎以上の 、同日口徳十糎以上の がない限り臨時議會の召集は避けあるから一般情勢に何等かの選化。 る方針の如くである

赤軍の動き頻

委員會 傍系事業審查

電話というでは、 で変数の係順に顕称して日滿り臓深 で変数の係順に顕称して日滿り臓深 で変数の修順に顕称して日滿り臓深 で変数の修順に顕称して日滿り臓深 で変数の終して日滿り臓深 で変数の変数をでする。 で変数をでする。 で変数の変数がでする。 で変数の変数がでする。 で変数がでする。 で変数がでする。 で変数がでする。 で変数ができます。 である。本日蓮江口より常地裏所 である。本日蓮江口より常地裏所 である。

滅一大佐〈参謀本部支那課 三日あめりか丸にて來連 三日ののりかれにて來連 一次郎氏(帝國海事協會技 課

門側財政部秘書科

本字多減一大佐 〈参謀本部支那課 うなら、さうご仰心やつてよ」を明確一氏(滿靈水道調査所長) ? うちの人は、結局、根からの意 「局上 集」 「一生な託したさなるさ、流石に院長)同上来車 「一生な託したさなるさ、流石に院長)同上来車 「一生な託したさなるさ、流石に院長)同上来車 「一年な託したさなるさ、流石に院長)同上来車 「一年な託したさなるさ、流石に院長」同上来車 「一年な託したさなるさ、流石にに長」 「一年な託したさなるさ、流石にど、上幅車 「一年な託したさなる」、流石にど、上幅車 「一年な託した」といる。 つきなりの人は、結局、根からの意

「対ってお仕舞ひなさいよ」

をつぶってるてくれたまへ」 除の僕の病薬が起つたん

が あるんだ。客を立たせる場所は、 でスタチオ (巌談堂)は、 誰が造ったのているのでは、 誰が造って にを思ってるるんだがれ。毎日、同じを思ってるるんだがれ。毎日、同のお客さまな彩してゐるさ、いつの間にか、器にあらざれざもが自っの間にか、器にあらざれざもが自っない。

生活せる細胞或は微いない。 生活せる細胞或は微いないないの主義は

死せしめ皮膚を刺戟

を抑制し且つ之を斃

し表皮の角質を増進

し然る後に病皮を剝

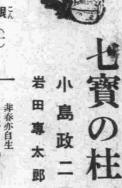
臨時議會不召集

政府首腦部の眞意

会の召集も大家に遊って来る事で を無下に摂否する態度には出な が、政府省職部の奥意は通常議 では、政府省職部の奥意は通常議 ▲青村常次即中佐<滿線場託幣校> 年前七時四十分着列車で無連 年前七時四十分着列車で無連

十分大連港外着の豫定

日息な吐いてゴロッミ権になつても かれて、諸まちなさうに満 って来るこは、諸まちなさうに満 はなせいてゴロッミ権になつても まか山崎を見て、静かは優しくさ ふやつが根を卸してるるちとい 程は非ざれどもが自生す でれどもが自生す 并春亦自生 草枯れて根死せず



(96)



建他皮膚源

新 本 葉大林小 鉄

日

これかりて喧噪・職成版さして解決

する智である、二十三日滿蝦本社に有質學物課長に静表を提出した東使長は語る

罕艮

動騷業商京新

代書類の送達を見ることゝなつな

強を以て財界機能

| 一次の表現者によって明かであるや| 一次の表現者によって明かであるや

人に見られ娘心の恥し

のあるこさ

納得させることとなった

警察署に通知と警察を通じ實父をさせる爲め右の經緯を他達の所轄

船夫を監禁し

荷物を奪ふ

密輸臨檢しご稱して

安岡檢事正の責任問題化 三谷事件調査終る

「事堂を見られてゐるが、五記事堂を記録さして難々の意職行為が何れも法律能に一章意局を吃驚させてゐる、しかして檄事の職に在る者の獲行さしては我感影破の 調べて大阪 これる智であり、後つて三谷元徹察官に闘する取調べは大體終了との敬事殿に送附も、他の重大素級にもて時就にかよったものは難にです。送常の縁蹇を強れるので趣音監局では時然にかよらの素級の

前に敢行された幾多の離行は一つ。調である、從つてかゝる聽戲感情。の事態であつたこ云はれてゐ。 概を強れる時期に並ち強つてなり。 「職事性も全く暗から暗へ舞られる。」 「からであった。」 「からであった。」 「いあるか違よしてせずり、三谷に 「いあるか違よしてせずり」 「いあるか違よしてせずり」 「いあるか違よしてせずり」 「いあるか違よしてせずり」 「いあるか違よしてせずり」 「いあるか違よしてせずり」 「いあるか違よしてせずり」 「いあるか違よしてせずり」 「いあるか違よしてせずり」 「いあるかあった。」 「いあるか違よしてせずり」 「いあるか違よしてせずり」 「いあるか違よしてせずり」 「いあるか違よしてせずり」

用に関し私腹を肥やした腕龍五

東校長の辭職で

内紛も解決か

後任に赤塚教頭を?

非行は院内護知らの者もない公知 をした者があつた位で、三谷氏の

地方銀州所地方銀州所徽事局に

へす左の金銭を安東地方事務所に管託し御災為に黙する財助日にわたり各方館に就いて財助賞児調査ななした結果取りあ

禰洲最初の

影陸上競技

日米對抗戦に備へて

參考記錄競技會も

本社は安東水災慰問のため本村警案局長を派遣し廿二、三兩

取敢ず慰問金寄託

本社から慰問使

田本武長宛「費電を謝す、郷大復館御安心を乞ふ」この返電の資に充てること、なつた、なほ同時に地方事務所長より村

、百 圓 也 滿人惻燿災者へ、二百圓也 日本側燿災者へ

したがらお暇ないたがくこさに

歸り車世錢

驅逐艦深雪

體を耐聴されて沈邊した驅逐艦深神で六月二十九日飲艦雷のため艦 廢棄に決す

滿洲國軍用列車

確かに自分の不德の致すさころ かれた (株) でいまりの行為に就いて印刷物に書 (株) ので窓に厳愛する事に決し八月十 ので窓に厳愛する事に決し八月十 ので窓に厳愛する事に決し八月十 かれた (大) ので窓に厳愛する事に決し八月十 かれた (大) がれた (大) ので窓に厳愛する事に決し八月十 かれた (大) ので窓に厳愛する事に決し八月十 かれた (大) ので窓に厳愛する事に決し八月十 かれた (大) ので窓に厳愛する事に決して、(大) ので窓に厳愛する事に決して、(大) のでいました。 (大) のでは、(大) のでいました。 (大) のでいました。

"娘は殺された。 本社あて實父から手紙

業一番地安居アメート権田廃継氏司未)の総械で縊死した市内磁点百米)の総械で縊死した市内磁点居住する戦灾五十嵐前市が大連署には、機応業電車依留場起転東方入業と健業市米ケ銭中丁七四番地に去る八月十日午後六時ごろ市内職方女中五十嵐ミッ子へもの死政に去る八月十日午後六時ごろ市内職 **| 昇給ハガキ | 事件**

居住する賞父五十嵐寅市が大連署

■ ハルビン特電二十三 が破壊されてるたゝめに脱機機脈 | 数送卵車が現場に向った、なほこ | 中央 | 二十三 日糖 東部線一郎 | 車一、無蓋車二、軍用車一及び三 れがため東行國際列車は香坊縣で | 地を登してハルビン特電ニーナー | が破壊されてるたゝめに脱機機脈 | 数送卵車が現場に向った、なほこ | 小九蛇と密線站中間において総路 | がなほ獣郷不明糖と時一酸液が

願覆·襲撃さる 東部線にまたも匪賊

今日の小洋相場十一時中

面からは多少の時日はかゝるか も知れぬが、そう悲観するこさ はなからう 金百圓につき百十四圓二十五錢

再び滿洲へ 機會あらば 河本大尉語る

が檎の禁輸は

姫心食虫の

ため

恐ろしい

事が解るであらう

内地業者の保護ではない

農林省兩技師來る

情さして一意職物に整体、全市時に大連兵城支部是影体車場司会 格瀬松六ケ年、滿州事態消費で同

虫の驅除は

技術的に可能

2 に 一連、 一般中語を は 満然河合楽器製作所 主河合小市氏 で は 満洲 画皇帝に ピアノ 献上のため まため は 一連、 般中語を 滿洲國皇帝に

で 京祝省から調査に来た是 ・ (右下) 編織の調査に来た ・ (右下) 編織の調査に来た

に第一回議州勢働移民職が概 の単込みに應じて來

左官屋さん來滿

一十三日入港のあめりか丸で 歌二 画勢鯛砂閃鑿の手で颼遯されて設ら 砂臓酸の手で颼遯されて設ら

湾本大尉(右中) 林橋問題

天気予報・

お乳の出ない人に急告れが出なくて困り扱いた人ががったが出てるであり扱いた人ががった人ががった。

時々曇り 北西の風(晴)

長 二 瓶 美 佐 子 師 鬼 山 星 峰 (此度東京より優秀なる教師な) 招聘致しました 瓶美山

京 ませ

齒科 森

行

事致し度紙上を以て御挨拶申上候及月廿一日歸連從前通り齒科診療に從墓容の爲去る七月中旬より歸省中の處

9

機震高商一行 来連中で下一行は二十三日出戦の扶桑丸で 質満剛軍選手その他多數校友の見 では二十三日出戦の扶桑丸で

名灸家天眠氏 目下

堀出し物山のやうに提供寄せ切れ、端もの、見切品等

を選んで四五間も先から項に内部 の品級を失敬するさいふ庇龍「たこつり」の名人が二十二日夜小崗 子響の綴にひつかょつた

豪遊運の盡き

お知らせ

明後廿五、六、七の三日間限り

年一回の謝思売買出

連鎖街の

挨

3

連鎖街京極通り、電氣遊園前

夏物棚ざらへ

盛夏品薄物着尺—— 害己 (但し無地綿布、モスリン |割引:278三割引 半値提供

な買物の最好季―ゼ 郷の古の

御職場線底加藤建三並びに足茨郷前八時入港のあめりか起で代表者前八時入港のあめりか起で代表者が必要を持ちます。

實現の能否視察に

鵜匠十家の代表加藤足立兩氏

前九時餐急行で北上したが、出餐に選ばれて観察に来滿したので午

三郎の極民が来滿した、從来是良いの言門の結構は國智能な存在であるためられてゐるものは是良川全流域は三百年来の結局が被傳さ明治教師、明白宗統域の言門令武部職御用の家統領と明治教師、足立職院の記門を製成の言門令武部職御用の家統領と明治教師、足立職院の記明を製成の言門令武部職御用の家統領と明治教師、足立職院の記述を表表してあるが加藤、足立職院の記述を表表している。

松花江の鵜飼

に先きだち次の如く諮った 我々十家の純匠は式部職の御用 をうけたまはつてゐるため満洲 に永住することは絶對に出來ま せんが、視察の結果若と松花江 で流が純飼ひに適するやうであ れば、宮内省の御用のひまを見 て來識、純飼ひを行つて見たい こ思ってゐます、今回の視察は と思ってゐます、今回の視察は 松花江の に解説方職懐のため委員の上京、 は満洲監製者の死活問題さして既

派、現地における調査を行はしめ 猛運動の最中、農林省よ

ゴルドシュタイン氏大演奏會

讀者優待券一处

滿洲日報社

大演奏會は愈よ今夕八時

於滿鐵協和會館

會費一般 二圓

滿鐵社員

報樂部

H

鐵

音

内外第一品 新鲜· 優良 世を捨て、何もかも振り切つて夜の上であった。

十六日近江町二番地、映樂館跡

新興滿洲出張所

別は、日光御用に沿ら出されてし込むやうにことへ駆けつけて

ゴルドシュタイン氏の 世界的ヴァイオリン巨匠

機枝より重いものは持つたことの間後を標さして、出るにも入る

郎と歌川八重子(二十二日より映樂館上映中)

昨日までは、劍術大名司馬道場

郷七の脛続は変を提つたものて綿範は主流養職七に批する藍藍織時代腺、山本楷男監督「時時銀遊」除こ炭鰯で名を實つた概名の時一下は「道と新味されて豆蒜那プロさの合同

人間つて、無持ちの持ちようや「ちやでナ」 ではトンガリ長屋とは名のみ、ことさ、やかな労働の支度を続い して母の慈しみた 見せにやなら このトンガリ長屋は、蘇軾先生

Ž.

の前にピタリ

込んで、蘇較居士

例によつて、一種の身の上相談な

0000

追ん出きうこ思ひやしてれ」 と取り次がれた鰔菱は、 と取り次がれた鰔菱は、

腰ぎなんですが、おや、また先生| 対を振り返り「奥さ計つても」された生し臭に――」さ、ちよつご家

「サアノ

ドイよ。アノ、<u>繁</u>帆先生、屋根屋は大の字に引つくり返つておいて

撮影所決定 新興の東京

本年中に完成

の銅瓷さんさいふ人がお見えです

水仕事に荒くれて、水仕事に荒くれて、

姿。これな道場の連中に見せたらろにずつこけさうに、帯を結んだ

さ、門口からチョピ安の撃。

振りに手続を掛けて、お尻のさこで、引つつめの繋は慌ちよに曲がで、引つつめの繋は慌ちよに曲が

「蘇村小父ちやん、おいらも構識と

まるで別人の

泰和が苦笑して、ムックリ起き

「何あんだ、大變な人が飛び込

何さいふ夢りやうで御座いませ

それにつけて

日

には、狭い水口でお蓮緑が、かた「「あんたが聴いのちやから、発掘って、私人のゐない作縁さんの家」ばかり。 といいしないになって、白い眼を見せる

サイト 引つ立て、家へ帰つて来して、チョビ安はお美夜ちやんな、 サヨビ安はお美夜ちやんな、

見れず、チョピ安さいふ腕的小僧。 というでは、何時まで終つても馴染んでは では、何時まで終つても馴染んでは

談講新

小

忘

左 膳 (203)

さ、この、人情の機動を察5つとなるのでした。

「お前が家村て工製爺かい。お初の「お前が家村て工製爺かい。お初の わつしやア 深川の古石場に

戸名物が一つ減つたわけだが この頭では、先生の高名を 際へて、かうして遠くから、 まつて、江

性分で、鱗にいて質

マニ族が好きで御座えやして1° マニ族が好きで御座えやして1° ・ 焼っ ア見るのも嫁えだつてのに、続いてエのは、りつしあ性分で、

社自の明娥合殿は耐た、日海が鮮水の明娥合殿は耐た、日海が鮮水の明娥合殿は耐た、日海が鮮水の駅であるものでなった。 1 日本・大きいものだが大きいものだが大きいものだが大きいものだが大きいものだが大きいものだが大きいものだが大きいものだが大きいものである。 1 日本が供える 1 日本が出る 1 頼し正式に新興キネマ滿洲出張

た概念所は先づ十五萬個を担じて を整理を安容工格所の手によっ をを表示を安容工格所の手によっ 方職への活躍も期でるここになった場所で、新に地所部を設けてこの本地内に新に地所部を設けてこの本地内に新に地所部を設けてこの 一萬六十五端を擬影所に當て道路・一萬六十五端を擬表なもので、內底に極つた。同町の敷地は八萬三 ーキー九本な上映する、子供及び 同伴者とも十銭 敷地は過般水突渉を重れてるため、動地は過般水突渉を重れてるため、 竹瀧田撮談所次長高橋蔵雄氏が飲橋馬大飛町に波定し所展には前松橋馬大飛町に波定し所展には前松 イテッド・アーテイストの漫画ト 宇前十時より子供デーな能とユナ 宇前十時より子供デーな能とユナ 行本年一杯に完成移転の鎌定で

常盤座子供デー



BEI

演主耶次傳內河大 一御非是。映上時同に特卷十三篇三全りよに望熱御・作傑大ぬせ滅に劫永てしと篇高最の界劇代時本日又。てしと作表代の藤伊・內河大

ウドス

S つい争さ熊白ひ載さ氷



世二日 イテエラバ性女公 開 ざく

门科

御來談下さい(電話八三〇四番) お方は山縣通五三番山縣ビル二階二號室に右デワーの喫茶部に採用致します御希望の サービスガール(女子現金係 (十八歳より廿四五歳まで) 名

テワー ウス本店 女 中

船赤出

夏 は 簡素なる 手輕で安全な 榮養食を 保健食料 あけ、ほ 0 11 丸ビル 0

右至急募集致しま 御希望の方は御來談下 九店

用

7

名

VASASS 日食堂開店 報|廣告部|電話四四九 速町 オ IJ ヱソ タ

入各 **荷種**

ゴルドシュタイン氏大演奏會 讀者優待勞一人 滿洲日報社

マ三十萬個を投どて大がよりな引いたがこれに伸動の引挽きも思ったころの版を行いてはいかないらしい人会のところで成功したがに伸動の引挽きも思ったがこれに伸動の目満入りを職がしたがこれに伸動の目満入りを職が立れに伸動の目満入りを職がしたがこれに伸動の目満入りを職があるがこれに伸動の目満入りを職があるがこれに伸動の目満入りを職があるがこれに伸動の目満入りを職があるがこれに伸動の目満入りを職があるがこれに伸動の目満入りを職があるがこれに伸動のは、一声を表示している。

森永煉乳株式会社

お足許 の冷房装置

語を有すること

「大坂内袋が取引所に繋ぎ値からの姿態となってある。」

「大坂内袋が取引所に繋ぎ値がである。」

「大坂門所内において公然國幣質質を行ひ、質質高を物の國幣質質を行び、質質高を指数し、その変数に密かに城を削出してぬること

「大坂内袋が取引所に繋ぎ値がに城や質が許されなかった結果、各銭の国際質質を行び、質質高を指数し、その変数に密かに城を指数し、その変数に密かに域を指数してあること

銅子兒下落から

北平市民恐慌

「新京電話」 後来満洲における塩 がおりる薬機車は緑炭風土等の脈像 おける薬機車は緑炭風土等の脈像 により好結果を齎きなかつたが、 により好結果を齎きなかつたが、

市外搬出と食料品買占を厳禁

有力錢沙の大部分は城内に店・の錢沙取引所があること

こ食機能需償に市内人口の大部分 して居るが、最近更に食機能の覧 る複繁農村の更生の一腕さして、北平二十三日養國通 銅貨下落 たらめる銅貨生活者は大恐慌を來 に成功したので、今後満洲にお

かしてあるから生産数が過じ去 ・いのである。

へれに比し機械影像が優秀ださ云ふって失戦を恐れるため

西洋人の能力では斯う二

を 本の工場から返してくれていふの ない熟練職工になってない、日 では場所に於いて掛け代へ 日 では から返してくれていふの

八月上旬現在における

大豆在貨

司公量奉稿

大豆奔騰

況(世川里)

産

受持な勢勝組合が懸じてゐたのだ「慢もあり(以前は一人四臺以上の「民人」と

後相崎の田園工場では自動車の部大河内正敏博士の経営される越

に二、三年も引張り延

は待てくくさ云つて既

の。その青年は二人とも

世界に誇負する

日本の"分散工業"

(中)

族勢働であること、

が最近五弦ない。 が最近五弦ない。 が一致にしてるるさの地談してるたのだるが、これ等の撮事情を全が繋じてるたのだ。 本で、一人前の男工が四金が多い。 一変で、一人前の男工が四金が多い。

はそれの出來る職工が一人もない

越株式店

保育で

綿糸軟調

出

四、四六〇枚三、四六〇枚

麻袋昂

は学司事、常市は買氣旺盛にて氣 総替司事、常市は買氣旺盛にて氣 減はず引際氣配は三十八銭五厘賣 三十八銭二厘買であった

ば

工業發展の新傾向

は、また外側で比較するには日本の特別を を 強いな生活様式のことも考へればない。 通いまでは、更に根本問題としては人口では、 を 過れている原因もある。

勿識優秀な技廠を認められた人へ送られる程だから日本に於て

出来高 五百車 出来高 五百車 出来高 五十車 出来高 五十車

大豆(探物) 山來高 五百年

一個の對立から

日滿取引所合併論擡頭

新京錢鈔取引不振は

日

供定して之に特別概を課する事は「総尿疏序さしては地状、同総金の的調査を行つた結果、電器工業を「の全額より見れば僅少であるので概念点と概論するに至り、大・若規要求中の半ばに過ぎす基準といきであると強調するに至り、大・若規要求中の半ばに過ぎす基準操派をできてあると強調するに至り、大・若規要求中の半ばに過ぎす基準操統と、政府は軍器工業税を殲壊す」。

海外市場杜絕

支那製糸工場惱む

いかソウエートの鍵盤をデンピング たがソウエートの鍵盤を 脱甲火の如く

0

なければ解られ、ソウエート長の招電に就いては上京して

ので、大體ソ 大體ソ

昭和製鋼所常務収締役富水能雄氏
昭和製鋼所常務収締役富水能雄氏

富永常務上京の

途語る

下げな大蔵者が運搬にやうさし て居る、相手の陸海軍側がごん な態度を執るか知らぬが、イン な態度を執るか知らぬが、イン な態度を執るか知らぬが、イン で表者がこの要求に應じ得ない

軍需工業の利潤を指摘

單價切下强調

大藏省から陸海軍部に

の合併説が一部に信じられて株の突飛高から豆信、錢信雨 があるさ一部には考へられてゐ なったこみるのが至當であら が材料さなり這般の新豆株高さごから市場心理を刺戟し、これ 豆信、錢信兩社の合併は共に

取引所の合併 二社よりも三社へ ての意義は極めて稀薄である。

要性を帯びて来たのは満洲の新り、更に最近においてこれが軍

高いのでは、 一時六碗塗に低添してぬたものが で大手合せな機びたこれは総局職では あもので見られ、現在職刑構場は なるもので見られ、現在職刑構場は 注文に刺戟され九銭乃至十一銭される歐洲高の報か入れて衛付からたる歐洲高の報か入れて衛付から 上半期麥酒輸出 總額四十六萬箱

期では三井六十車、瓜谷二十車が下車、慶年十車、合計三百車、定下車、優勝買ひを始めさし、日満四 銑鐵申込多く 增產計畫必至

拉濱線經由

歐洲高入報で 大豆更に續騰

定期、現物共大手合示現

日藤州高さ同方館よりの質の 原に致める事さなり、古田敷造岩 原に変める事さなり、古田敷造岩 原に変める事さなり、古田敷造岩 原に変める事さなり、古田敷造岩 原に変める事さなり、古田敷造岩 原に変める事さなり、古田敷造岩 原に変める事さなり、古田敷造岩 を調の変更を配を解立ら斯楽の要

產葉煙草 本年中に工場設立

新館 新館 新館 新館 新館 新館 新館 新館

電松 戦

作屋生

た 高 情 情

神戸日米 三回 三の弗式分三 三の弗式分三

大阪期米 前邊等前對引 三十二三元 三十二三元 三十二三元

限 名型 空盘 客付 大引

ものさ見られてゐる 各取引所臨休

四日は孟盆會に當るため臨時休建取引所錢鈔、特産兩市場は二 高田會頭赴京

海軍公館に催される全満民態態談高田大連騰議會頭は二十四日新京 十分鬱弾車で赴京する響 田來高 二車 也 米 三二五〇 二四九〇 出來高 四車 也 米 三二五〇 三二五〇

定期食合高 (世二日) 定期食合高 (世二日) 前日對比較合印減 前日對比較合印減 大豆 三〇四四軍 △ 四軍高梁. 一一〇八車 △ 六車 豆粕 五五五千枚 △一千枚 □和二三〇五百函 五百函 豆粕生產高(二十三日) 三、〇〇〇枚

〇九箱(五四、四四 〇六一箱(五、三)

八四二箱(二四、

六

歴 ・ 戦闘監禁の ・ 戦闘監禁を打撃の

内地變らず

無味料料

上海の時間には 「上海二十三日後」外國銀行は銀 福田との補充さして引織き卵質氣 にて十月物三十五一六分の九、十 一月物三十五一六分の九、十 一月物三十五一六分の九、十 一月物三十五一六分の九、十 一月物三十五一六分の九、十 一月物三十五一六分の九、十 一月物三十五一六分の九、十 一月が三十五一六分の九、十 一月が三十五一六分の九、十 一月が三十五一六分の九、十 一月が三十五一六分の九、十 一月が三十五一六分の九、十 一月が三十五一六分の九、十 一月が三十五一六分の九、十 一月が三十五一六分の九、十 上海標金 と置びとのみにて薄商内 上海標金

毒 護造製薬 膏の確的能効

唐澤醫院 醫學博士 第七二(電話八二)(六)

泌尿器科 X整 光 線 科

外科

大独茂施町電WO一五・八六への変に関宮式其他手提金庫被貨

といかの批演版字(高級品) 丹後宮津の名産

鮮 為 替 相

大連市信濃町市場 電話 八九〇〇十二九番

和洋食料品商 外 海

1000

相

天 K1,401

、テービスが行属で一朝チップなこと、 全智は第一等領値利な所にあること、 室料の低廉なこと ナニワホテルの特色

金製現物三、並

| 特別金||現物 | 二、む

幣對金(現物 二、金

111,40

鈔 製 現物

ナニワホテ

營業科目 三十三年創 **所東京東** 福標橋京京東

造 (大 | 量 | 000 引 ·角場広西里汪近連大

¢ 10 0 0 .

.

.

たショナル **則委員會** 政友會政調特

各省に節約强要

氏が黄乳氏の樹脂が大きな脚の に大きない。 大きない。 、 大きない。 、

以上により月末時任豫定の黄郛氏一窓視されてゐる

取締電令

米政府州知事に

日農排斥

駐支米國公使館

南京移轉に決定

國民運動

軍の研究

楠本中佐

『東京二十三日参阅通』二十三日 を記述とは、一年間に取り陸東 を記述とは、一年間に取り陸東 を記述とは、一年間に取り陸東 を記述とは、一年間に取り陸東 では、一年間に取り陸東 では、一年間に取り陸東 では、一年間に取り陸東 では、一年間に取りを表したがでは、一年過一

ルス来電、アリゾナ州の採日間駅 東京特電ニ十二日襲 コリントン中央球所が州知 東京特電に現後本間駅は國際修教学。 を据く権いあるから直に日本人皇。 たのは事態を取扱れるの電命を要 たのは事態を取扱れるの電命を要 を指く権いあるから直に日本人皇。 たのは事態を取扱れるの電命を要 を変られるの電命を要 を変して居るも のを製られるの電命を要 を変して居るも のを製して居るも のを製して居るも

橋本次官河田

務氏、黄郛氏に指令

藏相の收支均衡策

來る二十七日開かる

日本側

べく拒否

附屬地返還問題

本原則が決

側は逐一新聞に像へられ配も歪曲脚にあつたに拘らすソ側が十八日をに難し次長はソ職は北鐐突淡倒をに難し次長はソ職は北鐐突淡倒をに難し次長はソ職は北鐐突淡倒をに難しが織その經過し公表ゼマ日満

き遊戯し会談四時間、結局水揺織 も日流の出方ではなほ交徴の餘地 るるこるに如かすさ考慮した結果である に終つたがソ職側は不満を有する 充分あ

人使ソ聯當局訪

一後はソ聯側の

誠意表現を待つ

滿洲國外交部當局談

き入れないから一切を公表すとはかれて不満さしてゐる、 誰

高 高 満州國政府の登表後外交部常居し 議州國政府の登表後外交部常居し は

表の内容で蠢きてゐるから更に一問題の眞相並に我方の言分は籔

★波る問題である、だから陸軍・ 車や海軍の懐へ轉げ込むさいふ 軍や海軍の懐へ轉げ込むさいふ。 事事職算さいふものが總て陸

農村を潤はすこさに物質の經費やその他

對日强硬政策遂行を目的

國民政府の外交に除らず、黄郛氏の外交

新

車中談

く無いが御下間があればお客へする考へである する考へである も知れないが組織その他で仲々 を関いてゐない、之もあるか も知れないが組織その他で仲々 を関いてゐない、之もあるか を関いてゐない、之もあるか

機關を一新せんさするものさ見られ、日支鵬線は鹿に敷飾さなる形勢であるを験してゐる、しかし綿緑汪氏が黄郛氏に代り、外交部長には顔恵慶氏を推薦し、國民政代りに汪精衞氏を以てせんとし內交渉を懲めてゐる、宗子廷氏も武氏を薦めてゐるが、武氏は承諾せず代」に汪精衞氏を以てせんとし內交渉を懲めてゐる、宗子廷氏も武氏を薦めてゐるが、武氏は承諾せず代上海特電二十三日發』點日經酸碳聚、北支龍監察光鑿武方鈚に認疑喚した際代孫氏は黄郛氏の懸災に催らず、 支那外交陣容を

在滿機構問題 ち球大会が農村慰棄確立のため議「日本権の管験家、智謀製者をメムーリッピン、ボルネオ、印度、支那、譲贈た要求すべもさしてゐる。師「本君平、小山谷蔵剛氏を理事さし」理事等を撃るて滿洲、支那、フィは終会智集につき球友会と同じく「低合職合會長尾野鶏氏な発展に松」て經濟職點では尾野食長自ら前記は終行業につき球友会と同じく「低合職合會長尾野鶏氏な発展に松」て經濟職點では尾野食長自ら前記は終行業につき球友会と同じく「低合職合管長尾野鶏氏な発展に松」て經濟職點では尾野食長自ら前記は終行業にある。

半球の視察決行

の関節の成行は いたらう

マッシートン二十二日数回通 米 関政がは今原大西洋電池艦隊の版 がしな動するに決定と海軍長官代 型ペンリー・ルーズヴェルト氏は 二十二日次の如く要表した 米海軍の發表

は、 は小艦隊の所属軍港を變更した に過ぎないもので特別の意味は を動してるた大西洋艦隊を相當 を動してるた大西洋艦隊を相當 を動してるた大西洋艦隊を相當 を動してるた大西洋艦隊を相當 でも米岡海軍従來の計畫の或行 ても米岡海軍従來の計畫の或行 とい期間太平洋片に配置せんさ でも米岡海軍従來の計畫の或行 氏に決定任命された

▲寺田秋三少佐《關東軍司令部附》 ▲帝田友吉氏(大連商工會議所會 頭)同上 ・ 米岡規雄氏(旅順市長)同上 ・ 本、川順之助氏(大連市長)同上 十三日午後四時二十分發列車 瀧紫熈氏(陸軍強備中將)同

世界の肝油

薬店にあり

排日暴行者は

假借なく取締る

アリゾナ州知事報告

界を風靡せる・・・・

『ワシントン二十二日登園通』ア 学戦の橋本中佐は本日午前十一時 は州裁判所で合法的解決が奥へ 株等に除る演職事件に脱続する制作地に就いて とれるものさ思ふ といってある耕作地に就いて (東京二十二日登園通』中島前職 本してなってある耕作地に就いて (東京二十二日登園通』中島前職 本してなってるる耕作地に就いて (東京二十二日登園通』中島前職 本しれるものさ思ふ 機等に除る演職事件に脱続する間 のでは、北京 (東京二十二日登園通』中島前職 本しいさなってある耕作地に就いて (東京二十二日登園通』中島前職 本しいさなってある耕作地に就いて (東京二十二日登園通』中島前職 本しいさなってある耕作地に就いて (東京二十二日登園通』中島前職 本しいさなっている財産の事件が、北京 (東京二十二日登園通』ア 学戦の橋本中佐は本日午前十一時 に対している対域を表現している対域を表現している。



てゐる。

な話で、剛緑果臓を以て雕えせて繋脈に努めたことは著名

事代には脱作家の列車に乗合

る、特に高熱磁の及ばの高空飛激 でひ上下左右自由自在に操縦され のというを使いなく、破壊の目的物に

だらうさいはる

不可能

ロンドン會議

小麥輸出割當

ふから継 研究してそ れが支那な 定の覧行見張役ださー が吹くだらうさそれな楽しみれ十八本の櫻の樹も來年は花 ちやない、熱島から取寄せた

安國境で列國軍隊さの職像も

体題で基すのだ、聞舎だが興

湖を愛すのみで酸艦から飛ぎ歌曲 後如何なる軍艦も破壊を発れないすだらうさ、この新水艦の郵塞地 の飛行機から無電で容易に操作し難は上順以上に及び起辺の戦戦に の飛行機から無電で容易に操作し難は上順以上に及び起辺の戦戦に の飛行機から無電で容易に操作した。この新水艦の郵塞地

民政黨の意見

られないネーさは特務機関長

さ意味深遠の爆笑。【奉天】

ムルヰフ

米の太平洋新作戦

大西洋哨戒艦隊總移動決定

米海軍當局の釋明

意見の接近な陽るさころあつた

微量で効く聖魚肝油

大連市參事會

をしのぐ快撃で 既に八十二に達 脱に八十二に達

大職者法記は長を据さ地後のでうなとこの機器に二十二日河田報長は大職者法記は長を据れても考慮したが政府でも考慮した。 大職者法記は長を据さ地後に一十二日河田報長は さドイツさの間に ハイエ氏夫妻 希望を洩らし浦洲國

河田翰長も

エ氏夫妻はその後新京にあつたがけられてゐた駐浦ドイッ代表ハイ し大きな期待をか

海軍根據地

太平洋移動 海軍當局談

新し我海軍では大野左の如くみて は今回大西洋哨巡艦隊の根擦地を 大西洋より太平洋湾に移動するに 決定したこのワシントン餐電報に を がなしたこのワシントン餐電報に を がなした。 東京二十三日餐園通 米園政府 野ずる決策認定の性な附議する管管を採集して昭和八年度各會計に

喜多大佐來達 さきに酒 圖們辦事處長任命

交部國門號事處長の後低は朱世偉。【圖們二十二日發國通』滿洲國外

内柔外硬の糖衣小粒 く、油量が少ないため胃腸にモタれず、不快 日一粒、小兒二粒、大人でも一日三四粒でよ 方等に含有すべく力價が一定され、幼兒は一 で、一粒は二千單位のAと五百單位のDとを 臭もなく如何なる病弱者も、神經質な婦人小 で、一粒は二千單位のAと五百單位のDとを液塊に糖衣をかけた他に類例のない小粒肝油 粒一個で足ること」なりました。 中に含まれて居るヴィタミンAとDにある。肝油が効くのはその油の量ではなくて、この 夏は抵抗力が衰へる 腹でも樂々服める

委員会は來る十一月に再開する事さなつたがそれは十一月さとなれば本年産小麥の形勢につき更に詳細な情報が得らるとから

が良いととは言はずもがなである。けれどあが良いととは言はずもがなである。けれどあた人々も、一ばん大切な夏に服用を休止してた人々も、一ばん大切な夏に服用を休止してた人々も、一ばん大切な夏に服用を休止して

川油が良い

るさうだが、音歌の方が年も上だらうと右の如く明治十四、五年頃、 ・ の飾名だから、同じ雑様さしては ・ 失歌だらう。 といが年五月生れで ・ 大歌だらう。 といが年五月生れで ・ 大歌だらう。 といが年五月生れで ・ 大歌だらう。 といが年本日生れて

州四歳の時政務局長辭職

ふさ「それはいかね、一つ附けてやらう」さいふのだ。それで「姓は早州、さいふのだ。それで「姓は早州、名は朝治、字は 百余、葡萄を飲

し、又喧嘩ばかりやつたから皆か う志覧は同し、又喧嘩がしては貫けなかつた 機動を待ち伍して喧嘩かしては貫けなかつた 機動を待ち

殊腕を押つて蘇聯が極東に於け

水路會議協定事項

案文の起草を完了

一、大橋道路、廣場、土地の三大 利目に分類す 利目に分類す 利目に分類す 、土地即ち商単地は八十萬坪を 限り参一期計畫を覧行す 二十五、三十各メートルの五種 さと第一期計畫を覧行す。 一、九回三十萬人收容を目標さす 、市解計畫質施:園でる費用は 搬津色の重響を原則まする費用は であるが或題宮の時期まで全額 運動をが成題宮の時期まで全額

のが欧革製に左の如き

のて二、三十萬

機能代理さして大水災勝同および 関地視察のため要単に起いてあた 関地に見ると開きしにまさを損害なので驚いた、点理連正を行って、大きがつたが、水害そのものは 特が、水害ののは、大きがつたが、水害そのものは 本学の豪雨の三倍にも遂ぎる大 変雨だつたことが根本の原因で ・ 本端池堰場洗漬の原因で ・ 本端池埋場洗漬の原因で ・ 本端池堰場洗漬の原因で ・ 本端池埋場を ・ 本端池埋場を ・ 本がでの ・ 本がで、 ・ 本がで ・ 本が

關係の報道は、何れも蘇聯い

案外の大損害」

社

說

英。佛共に反日川想の者もあ

問題に利用さるゝた好まの事は
を結ぶを欲するも、それを日禄

戦さして國内の統一固成に り、株に共産主義に同情するも のは、蘇阗の宣傳が其鑑交入れ なけれざも、既に有力紙により て蘇の總職が暴露さる、上ば、 に 安東新上水道

滿鐵運會議協議

閥の争ひ

絕對

水雪のため機機した安東大道湾水 表める必要があり即ち是に就いて 地調音所起、機木工事課長等が調、 たの三つの方度が繋げられた での結果、契機低機低難にて新築 たんまさ 変東水道施設の根本的記載を構立 三、他線社の水を濾化し上水に利 変東水道施設の根本的記載を構立 三、他線社の水を濾化し上水に利 での水道を表するため繋ぶに 三、他線社の水を濾化し上水に利 での水道を表するため繋ぶに 三、他線社の水を濾化し上水に利

理以上の三方概をあげたが鑑率の宏 東維水臓は大道流が一月五千戦、 を現の勝率を考慮せば一萬戦の結 を以て水道脈を断撃さするので右の條件 て安田水道脈を所退、植木正再戦の で安田水道脈を所退、植木正再戦の で安田水道脈を所退、植木正再戦の で安田水道脈を所退、植木工再戦の で安田水道脈を所退、植木工再戦の で安田水道脈を所退、植木工再戦の で安田水道脈を所退、植木工再戦の で安田水道脈を所退、植木工再戦の で安田水道脈を所退、植木工再戦。

富拉爾基鐵橋畔

る。但じそれだからさて、我邦 は決して蘇外突の活躍に對して 曼如たるを許さねるさはいふま でもない。 過ぎは却つて藪蛇にならんさす所以であつて、隣属外交のやり

東に於ける勢力に影響する。之に辣腕を揶ふめは直ちにその極

長後任銓衡 ◆ 在川郷雄氏の心事が、舵を蓋う で続めて郷つた事は、放人を畑 る人を含さに捕らす酸に同様に 事へない。 ・ 様心性の中にはその地位に燃え

林少佐の談 **数回通】最近吉林**

職の軍部時間の

本徳二十三日教國道 南京財政部では去る十七日古北日に被願出 一世名を派遣し準備中のさころ電話 一世名を派遣し準備中のさころ電話 一世名を派遣し準備中のさころ電話

記念碑を建設

顯揚會、基金募集着手

土地係を

大連民政器に鵬東縣官有土地(第一路) 大連民政器に鵬東縣官有土地(第一路) ・ 一億五千萬國を擁し、 ・ 参列の上安東の水深を見舞って陸 であるが、従来財務縣官有土地(第一路) ・ 関日午前はさにて赴奉同教會式に

冒債市場改革案

麻袋院り

六五段

大量取引で市價安定

支那船の檢閱

官有

山田神農會長

| 出來高 期近 三百十二萬國 | 第付 高値 安値 大引

鈔票服調

古北口稅關

止式事務開始

計上、機力強勢通過を除さず事 をして所管せしめて障容整はず事 をして所管せしめて障容整はず事 文显显 灵克 **基础**

三元 111111

株保合

後場市沈年三日

さする處に後途の道は開けやう

典養の二無のあ篇の子と母 【呈送に方の送お銭債券郵 體代理店 玉置合名會社 更殊は夏の年今順不候天 不化前。すで結るれば遺脈の原體の見愛 ツキヒ・緊養・ケシム・ンカ・便青・良 いさ下でへ夷ルポ本く早も前一はに夢ケ 妙布は ついあります。 大の御高計を戴き

・ けれざし、 資谷の太難の家へ行って書の話や力 鯱の話をして離ったして きいふので、 急に太養さ元老方面 しているので、 きいなので、 きに太養さ元老方面 しいがった

長なやつてあたので志に大阪にも散々音楽の

務大臣、音樂がその

整節で動合し、戦闘か食つて夜のおった。乃て大戦さな版で――塾の私(何十年版かのを版で――塾の私

さいふので、

があつて政界の内情も一

ならぬ妙布の効力

家に外に借助権く 夏は殊更ら忘れて されど疲勞し易き 欧洲と活気をあるる

問着もまた嬉し。

今ぞ見よ

最も、同じ意所より出人の歌は、又般明なる

◆今の企業か 使ってくれ

色の

健かなれば 問暑も嬉し

に親しむ

新京郊外にて

間時にこれ等定額機の料金を他下げして門和艦及低機の料金を他下げした。 かさしなすべく次の通り思い切った。 一時にこれ等定額機の料金を他下げした。 があり非常時であるが、更に支 かさしなすべく次の通り思い切った。 が、更に支 をでは今回貨路照明の徹底をはか ででは今回貨路照明の徹底をはか ででは今回貨路照明の徹底が、更に支

(事天) 来る二十四日(陰暦七月 十五日)は怪似により戦勢軍警の 十五日)は怪似により戦勢軍警の

第一部 都田小農校においてブログラムは左の如も

【事夫】香川縣生れ松陽キヌは出版計画を膨いたのでは、佐藤田がある十五日郷生町八の螺旋館に突破を上れた連者狭町蔵田離江さ倫名を設ったいさ云が、佐水木も棚手が、大したいさ云が、佐水木も棚手が、大きないでは、大きない、佐水木も棚手が、大きない。

大いに期待されてゐる、尚ほその

宿屋で稼ぐ

廿四日奉天で

戦歿軍警の

短 無料 無料

非常時に呼應する

載初等教

教育研究會

- 五日奉天で開催

は實費の半額

話交換機両村俊子さん一行十名は『春天』 泰天銀道事務所保安院電

彼女等の熊

大連見物

日

【五房店】五房店小熈校兒童は労

野菜賣り

小學生の

係方面で連絡をさり

聞き連絡をさり着後策を助會長大連奉天方面に奔

浦

さいし散會したが一方常業協會側でいなって吸めて方法を譲ずることなって吸めて方法を譲ずること

民の總意に基され になって散金した

遼陽軍

滿鐵都市對抗

と開き標所長も鑑牒の上長井護長七方事務所會議室にて緊急協議會

の反對を唱へてゐるが、地方

邦人に不利な事

絶對にやるまい

蜂谷奉天總領事語る

北鮮から北満へ

局速鮮魚輸送

第一回は總局長から皇軍へ

九月一日初スタ

して標準を出張する

江間の距離な驚くべくが 時間餘を要して居た北郷

バ、ブリ、イワシ、カレイ其 車な連結正味七順の鮮魚=サ

す」と雖る藍評地がよく引張り収 に御魔で安い新しい野菜が喰へま でない新しい野菜が喰へま 動位安いので

を選場で決定したが當日は控原監 を選場で決定したが當日は控原監 を選場で決定したが當日は控原監

に無電裝置のため出張中であった に無電裝置のため出張中であった に無電裝置のため出張中であった

石黑技師の土産話 てんのさ

つて討伐行動な開始し午後三時頃。宇警察大隊長は警察隊〇〇〇を以近しつゝありるの職報を得たので

工場煉瓦工館

「大石禮」滿洲國々策に基き海城 整部を原稿を回鑑しては當時本紙 を計劃ある。同に關しては當時本紙

一、 東込規程 参加チームはチーム名稱、選手、 ・ 東記場所 旅順市舗江町満洲日報支局 ・ 東記場所 旅順市舗江町満洲日報支局 ・ 東記場所 旅順市舗江町満洲日報支局 ・ 東記場所 旅順市舗江町満洲日報支局 ・ 東記場所 旅順市舗江町満洲日報支局

合流匪を

支拂

を要求

煉瓦工賃

圃を擴張

第一回全旅軟式野球大

會

安い桓仁の黄瓜 十錢に百七十本 前月までに二 既に製造煉瓦の處理なののみにて選金予八百

大七曜な以つて趣繁さる、事さな ・ 事京國務院に於て入札の結果大 ・ まり起工した

主催 旅順 體育 聯盟 後援 河 合 新聞店 店 上催 滿洲日報旅順支局 後援 文英堂、外山洋行

橘山で慰霊祭

を開谷大佐、橋大猷長の御前に於 で、二十二日郷軍分會事務所で之 で、二十二日郷軍分會事務所で之 で、二十二日郷軍分會事務所で之

中間

等を擦行して 等を擦行して に於ては高 にかては高 にかては高 にがでは高

旅順の夏蠶狀況

電であるさ 電であるさ 電であるさ

遼河沿岸の 穀物出廻り

發育至つて順調

掃立敷は昨年の半數

たので連累、除罪取調中 をおので連累、除罪取調中 をおので連累、除罪取調中

鞍山チーム

(と判明だまされた事を知つた

部と協議の上排線激素を實施した するので実際の在標準人會では例。 するので実際の在標準人會では例。

養平 (二十六日) 自族 山 (二十四日)南桑(二

日小學校々庭)國旗揚揚、優勝間小學校々庭)國旗揚揚、優勝

蓋平縣警察機構

日式に充實

司法、高等活躍を開始

牧養物加し一方掃立族さ相待ち相談を経過に発験化狭後時へ降雨の気め

質の剰餘を生ずる見込である

安東に見舞電

大石橋 近来来職に懸する過次 「大石橋」近来来職に懸する過次 大石橋 近来来職に懸する過次 を電報局に問合せたるも電信電話不 ・ 電報局に問合せたるも電信電話不 をの如き見郷電報が十八日夜半養 大連、釜山総由を以つて 大道の偽め大連、釜山総由を以つて 大道の偽め大連、釜山総由を以つて 大道の偽め大連、釜山総由を以つて 大道の偽め大連、釜山総由を以つて 大道の偽め大連、釜山総由を以つて 大道の偽め大連、釜山総由を以つて 大道の偽め大連、釜山総由を以つて 大道の人間合けたら電信電話不 一同で選び御見舞び申す大石橋市民・大管有の災禍驚愕御同情に堪へ お金持ちの悲哀

軒燈を値下げし

津に十一本職とから、満の満種の議場

廣場でピッショリ、勇敢 とたが指標の電話突換局見撃 を表したが指標の表した感

を捺してから

る、これによれば従来百八十 を行び漂漱、渡江間を四十時 を行び漂漱、渡江間を四十時 になっているのであ

6 安 然るに途中放降多きため十九日安 職で 日左の如き返電があつた「貴電な 大行の 職・一颗大復態御安意などふ安東市 ない 民」 国に義振金票集に願してはほ 下線議中なるが不日具態方法要表 さる、管 で市 ものあり、殊に襲撃の段標さされて、 ・ ものあり、殊に襲撃の段標さされて、 ・ ものあり、殊に襲撃の段標さされて、 ・ ものあり、殊に襲撃の段標さされて、 ・ は、までする。 ・ 匪賊跋扈に附屬地へ

隆

北六番町同二百四十一人、常記町同三十四人、源端子同十五人、常記町同三十四人、源端子同十五人、常記町百九十八人の多数に及び立山派四百九十八人の多数に及び立山派四百九十八人の多数に及び立山派が高がなった。

愛婦旅順支部 【族順】 (大部では今回管内二十校の夢通學堂 に對こ兒童獎學のため貧困兒童に 對こ毛筆鉛筆雜記帳を給興する事 さなった 明鮮京城生れ朴明玉(一六)張錫吉 第一年 (一七)金二俊(一九)の三名(京城 整工場の女工さらで働いて必定所 或る男に編されて承衛に入の親幸 成る男に編されて承衛に入の親幸 は驚き早速京城警示署に對ら市 とは、 大西塔大街三丁目にゐるのを は、 とは、 とは、 とは、 とは、 となるの。 は、 となるの。 は、 となるの。 は、 となるの。 は、 となるの。 は、 となるの。 は、 となるの。 とは、 となるの。 となる。 となるの。 となる。 となるの。 となるの。 となるの。 となるの。 となる。 となるの。 となるの。 となるの。 となるの。 となるの。 となるの。 となるの。 となるの。 となる。 となるの。 となるの。 となる。 となるの。 となる。 とな。 となる。 と。 となる。 と。 となる。 となる。 となる。 とな。 となる。 となる。 となる。 となる。 となる。 となる。 とな。 土産品陳列所 大石橋憲兵隊訪問、即務指導官山口義己氏、 **精神館松氏、** 非关 方、中國、四國、九州、満を着別の業態を簡明に論評した、所謂西日本をを登業の本據とせる重要二百を発表の本據とせる重要二百と十會社の過去入期の業績とは、 景氣は關西から!!

社研究家投資家必讀の

新刊大好評

東洋經濟臨時增刊 購前

1 2345678g

下中瀨部田尾中田川永

騙されて來滿「秦人」

見本進星和 三ケ月四間十銭(芸科共)

は概むので家人も緑の森に思ひ六 個で質ひ求めた所計分許りて又 一鮮人が来て同様金緑眼鏡を出し て繋入な来めたので家人も不能に

たものらしく目下餘罪取調中この様の手段にて相宮荒して

鮮人同情詐欺

諸君

*顧東洋經

男性の髪型變遷史

オールバツクや角刈は昔話

ではならの変勢で過ずといいが彼女等は何にかうしてあればい、講だの報名のは数名のは数名のはからこの歌迎な少くする方と四つ間がの変勢で過ずといいが彼女等は何人に過ぎないが彼女等は何人に過ぎないが彼女等は何人に過ぎないが彼女等は何人に過ぎないが彼女等は何人に過ぎないが彼女等は何人に過ぎないが彼女等は何人に過ぎないが彼女等は何人に過ぎないが彼女等は何人に過ぎないが彼女等は何人に過ぎないが彼女等にあるために

「つわり」は世性の大きな機の新療法といふのは明ち概要を行っているは射も乗も用ひ、中の婦人が一日に必ず少くさずに能難に発れる新療法が要も一時間四つ都ひになって整理に発れる新療法が要も一時間四つ都ひになって整理に発れる新療法が要も一時間四つ都ひになって起来の離上でヤングスタウンで数名で、イー・ペイカー博士のおかる あがお降を起すここでに起因する。そして妊娠後数ケ月は婚婦中の婦人に就いて實験である。そして妊娠後数ケ月は婚婦中の婦人に就いて實験である。そして妊娠後数ケ月は婚婦中の婦人に就いて實験であるものだ。然も分娩朋近した結果を要表したのが、ここでなれば忘れた標に全快

つはり』の

するのな常さする。此の為 所」ささへ呼ばれてゐるも のである。此の病氣は胎兒 のため腎臓及びその下部の

新療法を發見

四つ匍ひに歩く事

日

浦

男性的チヌ釣り 注意すべき風向ご潮の時刻 旅大附近の釣場案内

でかってもでします。 海水浴場よりでかってもでしまっている。 海水浴場よりからでしま からでも或は海水着で膝か腰あた

| でせう。あの力強い手ごたへから | 一般の方では人とた事もないのに対が、関いに近づきません。 | でせう。あの力強い手ごたへから | 一般の方では、そのでころの雑魚には強成見られ | 人の方や婦人、子供づれの方が試 | は北麻の紫癜子、三胞蟹、北海、 | です。でこの風の時にあつたり | から吹つけて機に返の高い日には | 水の炭がは、そのに対するとは、 | 水の炭がよいら、 | 南の風の時にあった | 水の炭がよいら、 | 本の組の時にあった | 水の炭がよいら、 | 本の組の形成では、 | 本の組の時に | 本の組の形成では、 | 本の組の時に | 本の組の時に | 本の組の形成では、 | 本の組の時に | 本の組の形成では、 | 本の組の時に | 本の組の時に | 本の組の時に | 本の組の時に | 本の組の形成では、 | 本の組の時に | 本の組の形成では、 | 本の形成では、 | 本の つて來ますから素人にも概當かれ 用心器くなく解さ見るさ直ぐか、 九月 にもなるこチョのい とすから一期一姓によらくなりま 間毛やれつもに塗りつけないやう をかりが少し無が引けて来ます。 混ぜお纏からむりへかけて一蔵にやむりが少し無が引けて来ます。 混ぜお纏からむりへかけて一蔵に繋がになると入窓に無がしたお鍵 垂らして掌の中でドロインに乗り 日やけの漂白法

しいか三日置き位になさらないさいなるのは無物、漂白波も五日に はなるのは無物、漂白波も五日に

一人浴又は消餓の後す かこのま、置くこお眼が荒れます



破産申請は 商人でないと

も少と出資して合資金社に組織を三年後商業に失敗して家族と本人 居りまずが中々返金して果れませ趣恵し共代表社覧さして繁聚して て大事な貯金な貸付ましたら二、 出來ませんか 破産の申述は出來ます。佛と の競合することを主張して、之産原因並に費下の外にも虚概者 産を申立つるに信機の存在さ を確明しなければなりませい。

出したのが明治中期ごろの版にない。それでせらてはさ取

めつぼく海線がなくつまらないこ

煙花を聞み、

出泉は破産申請(元の手段で)で出来ないそうですが右の場合代表 きないでせらか、恐入ますが紙 ますが、破塵申請は耐人でない 御知らせ下さいませ(版順 延期證を取つて居ります 其中の何れか一の事實あること 我りまぜの(寺島由松) **軸並人は費用支援のため法院に** な云ふのであります。なほ破骸 超過(完廃不能)の盆部、又はさば支掘で能、支掘停止、膨卵

法の講習會 洗張ご洗濯

髪を位で、その代り今日の満洲人は今日では朧西あたりの職人間に 人の間に流行したスクエア(無効)

なる、ことは出来ない、この事性は 事であると健くさも数すらも平線計 事であると健まらず、叉動能力行 に連れて、之に聴じて刺激しるものである の社会事験と情似たるものである が、我々の社会生活が複雑になる

新さつたさころでは洋部奏れどの シのきしも見たいなアラシ繋だの

のモダン連は大半スクエアです。

ウト等ありますが一般向ではあり

事職性所で各年前九時から午後三年 東職性所で各年前九時から午後三年 でのまる。 った、これは現今の社会生活が癒 ち用ひられて輸出される販売に至 った、これは現今の社会生活が癒

養生の進化

生だけでは健康を保ち種類から発生が選生を完ることによって整性験は保たれたのであるが、現今の社が選生を完ることによって整性験が を要なもびや が減を起こ 殿、岡忠護

かうさいか無持の煙花に就て別院すぐ思び浮んだのは煙花の事を書 花火のはなし 上

◆「ルソーは驚である、私なご一唱ふ霊雀に過

(七六八一・二一八一) ◆作 ーソルウ

夏の名殘り

す。だからチヌ釣りに出かけやう ひピクは今驚分は纏を纏つて水の は 後物だけを れら かります。 等は今な とこ間から二間中のつぎ竿、 縦や じめに なれば 道々要録がわかりま ち二間から二間中のつぎ竿、 縦や じめに なれば 道々要録がわかりま ち二間から一間半のつぎ竿、 縦や じめに なれば 道々要録がわかりま ちっぱい ちょくな ないが、 かりの 対応を は でも こくなりません。 大きくな なら にから とりに 入れた しょいが、 かりの 対応を は でも こくなりません。 大きくな なら にかい かりの は でも こくなりますが へい といが、 かりの 対応を は でいる ことが という に は でいる ことが という に は でも こと に ない かりま でん こと に ない かりま でん こと に ない という に は でいる に は いい と でいる に ない と に は に ない と に ない

婚期に遅れた私が良縁を得るまで生活運動座談會でいる ととも

七合目なご最も具合がよいやうで アサ

アサ はゴカイかエピを用

き初めてから満で潮の八合目まは銅道其屋か先撃に根臓されたらんで駄目で、さしばどめ、又は、1のに變へればなりませんがこれで、時期からいへば清潮時で、10のに變へればなりませんがこれものに繋がらいへば清潮時で、10ので、2000年の、私や餅も酸々太いものに乗がらいへば清潮時で、1000年の、私や餅も酸々太いは、1000年の、1000年の1000年を1000年の1000年を1000年の1000年の1000年の1000年を1000年を1000年の1000年を1000年の1000年を1000年を1000年を1000年の1000年の

だはつてなかなか千篇一律には行 はってなかなか千篇一律には行

婦人の態形にしてもさ

床屋さんが語る流行

外人 さいつてもその画総

ル即ちキンキー好みの独に後から がんにかけて縁たパリカンで極端 がんにかけて縁たパリカンで極端 好の上あたりまでかったは極端 好の上あたりまであったは極端

連ヤマトホテル理髪部の日高 昨今の男性理髪界の傾向を大

さんに何つてみました。

透料四錢五厘

大好評!



暑さ倦怠も忘れ 食慾は進んで夏瘦 時候あ 捗る事務能率増進 せ知らず元氣百倍 ノックアウト

觀劇映畵 加し、その高雅な芳薫は氣分を爽快進の作用は實に精强にして、全身機 つて興趣格別

に接客に好感を與ふ仁丹特有の消化吸收促 優美なる仁丹入れ意匠せる大好評の

貳等 壹等 銀粒仁丹三十〇 或は特選麵粉 壹包宛 六大 袋宛 壹 萬 壹 千 名 名 樣

品 參等 仁丹の薬齒磨・ 壹包宛 (右は二百萬本に對する割合) 貳拾萬名樣

銀粒仁〇 紅粒〇丹 どちらか一つでも正しければ正解とします 上記の〇の中へ文字を書入れて下さい

は九月末 東賣店を經すに直接御送附のものは無効であります 順賣店を經すに直接御送附のものは無効であります。 御一人樣で幾枚御出しになつた販賣店の所と店名を明 肥の上御買になつた販賣店へ御渡し下さい そして販賣店より答案と御引換に抽籤券を御受取下さい そして販賣店より答案と御引換に抽籤券を御受取下さい 課題の文字を記入し 課題の文字を記入し

方し出の案答

包に無代添附す





効アリロ臭ヲ除去シ音聲ヲ好クスルノ特其他元氣ヲ振起シテ爽快感ヲ與ヘ 船悪食病榮養 車心 養養不 軽吐傷弱良

ラ最モ合理的ニ配剤ス 質薬人参、新築養素ヴヰタミンB は薬人参、新築養素ヴヰタミンB

即刻 御應募を

社會藥賣本日 天本·連大 理代總洲滿丹仁

所業營博下森 阪大 舖本丹仁藥備常

逃げるギャ

飛行機で追撃

ラヂオも利用して非常線を張る

銀行會社の戰慄

殉職々員の

靈をなぐさむ

ったない。これにいる。。これにいる。。これにいる。。これにいる。。これにいる。。これにいる。これにいる。これにいる。これにいる。これにいる。これ

勇士の慰靈祭

拳闘の

日滿關係者數百名參列

丹那トンネル

愈は開通

男は拉致され

女は逃歸る

北陵の外人行方不明事件

PM

て訪問し真心からの厚い同

ふ事になった

に開催する外道族陽撲軍人 の家庭を各會員が手分け

人の慰安會を中之島公會堂

用列車爆破 黙幕ら 十四名檢舉

百魁逮捕に官憲大活動を開始

硝子瓶漂着 紙片在中の

疑問がある

大爆擊演習 陸軍飛行隊の

電子概を通行人が登見したが其中 日早朝日催戦市来経境に漂着した 展見島二十三日養國通』二十三 五度三北緯二十度8・0・8

慰問袋五萬個を

在滿皇軍勇士へ

争變配念日・國防婦人會の計畫

訪日使節 旅費を誤魔化す

三輪の横領に責任問題 引致し極極に取調を

十二日更に連案者金英(こうた速

全校

東校長を支持

昨日關係方面に打電す

を明らかにすべしさ論じてゐる 味の懐壁に大活動中である 傷病勇士凱旋 かなすで共に一

(本) を は は ない は は は ない は は は ない は

【妻夫電話】新京橋成病院に入院中であつた歐病県士五十三名は二十四日午後七時五十分着州車にて十四日午後七時五十分着州車にて十四日午後七時五十分着州車にて十二名の歐病県士が大連総由内地

金の密輸

七回表開大黒澤のホー

女給の居る店に 學生お斷り 警視廳の風紀取締り

文部常藝務局長、府知事宛繋送さ でき事例な遊越し誠に面白から 者多くその結果學生の本分な記 れ放縦安逸に流れ幾多の顰蹙す でき事例な遊越し誠に面白から でき事例な遊越し誠に面白から でき事例な遊越し誠に面白から できず例な遊越し誠に面白から できず例な遊越し誠に面白から できずのな話をさ できず例な遊越し誠に面白から のがしく験校常局さの などろういふ方法なさ あまなるか、差しづめ女絵の居 を席には歴生お飾りの歌板でも出 す様様である(東京二十三日登画

場合に依つては自ら原手たる取締に一本紙を打込み は悪先づ戦的問題に一本紙を打込み は悪先が戦的問題に一本紙を打込み は (事夫電話) 繁一車管風司金都及 工職選した東土の整盤製み二十四 日午前十時より小浄徹において執 日午前十時より小浄徹において執 で、「新州郡園の惨性でし で、「大田」で、「大田

北京監督の主要を記されている。

事イラナン氏より最一 東洋鑑育

比島

右場所はヒリッピンで布性の中間を影り事質ですれば大間壁なので膨 関多數乗組み南洋遺紀の途に上り ・ 和解光には禅学少年 へ凱続する寒さなつた

十時同港を養し壯途に上つたこと
八月六日は蘇維に入港し九日午前
八月六日は蘇維に入港し九日午前 |兄島二十三日發網預]和購入 末弘博士召喚 『東京二十二日後國通』前邊應

を職跡で選ば飛行製後の七十機除 ・ 11 二十二日養國通 | 陸重飛行 爆撃液管を行ふて 際がされたが五野家で常製家吸を 要す、閉販五時五十分 関大010

大 | 橋浦本澤上若井村屋 大 | 橋浦本澤上若井村屋 大 | 大北橋黒村稻北西土 5 2 4 8 3 7 9 1 5

州醫大から派遣された防疫器除海北黒線智力の炭疽病薬防のため涌

定期戦 会で 総職の総集が能及びその附近 大・にハルビン衛生際は工業職合

会と認識の結果状態及びその附近をすること、なり二十三日から質 【新京電話】京闘線土門領を去る 花崗石の山登見

610

關大勝つ 對大連實業第 一回戦

北井二飛後、西村

人殆ざ虐殺

芳水河子を匪賊襲ふ

き大虐殺さ聞はれてゐる

虐殺鮮人の

死體は燒却か

スベリ

May .

母乳少なきる子様に慈養な山羊乳を是非

コミ

オイシク

和洋菓子ご喫茶の店 喜久屋

利泰洋

奉天商华地十一緯路(馬路湾)

各種爆囊火五品

獵銃·獵用

品銃

グリコオ

苦力の炭疽病

順要滞部に安置されるとになった て語さ英におよそ悲しい話であな作る首数が我が食へないなん

日の前をジャ

れてあてし

彩 貸し 連鎖街前に出現

Joy of

無附かず附近の者も 無関かず附近の者も

がいたくな位、料金はスポンデ野場にはチト ったものださいふ。ロハて利のようさ思へば輸入組合家に挑 事で満さピールは呑み放題、か ール夫がフンダンに変つてるた たった一つ今度大け海谷みがの かの新に化した安東「だけご君」 水の新に化した安東「だけご君」 かの新に化した安東「だけご君」

横濱を出帆 米國水上選手

雇傭條件の

戦のギカな使用

興安總署

公

家咸通】最近來朝

超ケ浦自動車運輸手養成所指山本 博一氏は敷日前米沙河口器保安係

獎安總署長官

鷹默特色木丕勒

自動車學校主へ

して相渡みません てピールサービス うぞ宜しく願ます 五日限り

林場權審定申請期間延期ノ件工作第一項ノ期間ヲ延期シ康徳元年九月十日ニーの大学のである。

チームを日本へて交換し人間は悪いて なった 日本チームを出来れば毎年二月に 関して なるが出来れば毎年二月に 世島に 又五月に 比島 る楽園選手は単に明年二月のカー 世協売明年二月カーニバル

日非戦區地帯で行方が明さなつた は焼き着でられた紡織があるので は焼き着でられた紡織があるので 財下戦撃調査中である

多大の反響を無へは同所生徒間に

從來の同所の教授に不

廣告部電三六九五

々愈

日

。食堂部開店

至午後十一時

北安鎭の炭疽病

こころ一週間前から既に温寒を蜷また寒鏡二站方廊で工事に使後中の いいい と 特電二十三日襲 最近 こ れは下新京祝町満洲花園花會社の一般軍取調べ中である一四里の地監に花崗花の山が登見さ

大連醫院に またも怪盗 緩んだ警戒に附込む 電影視しつ、刷着の言分について 電影においてし成行を重大視し臓 時もこて不様な形態を記す者あり である。 ではいてし、な行を重大視し臓 がある。 ではいてし、な行を重大視し臓

なれた優秀の調理法と相俟つて必ず皆様の御滿足を

の調理法と相俟のて必ず皆樣の御滿足を得…。特に吟味致します毎日の材料は飛びはトラス……。 御食慾をそへるかの如き靜か

る事を期待いたして居ります

速

町の

四

四

9 九 Ξ

洋酒洋食料品輸入元

なリズム....

ムとのコントラス…

い清楚なホールと高尚で落付きあるパール

く犯人の目尾至くつかない 小林技師來達 汽車製造

株式会社技師小林湾氏は二十二日 大港のはるびん丸で水連盤中語る 主さもて車輛の方をやつてゐる 中無な質込んでかり、今般機嫌 が確線型の機関車客車で軽特急 が確線型の機関車客車で軽特急 な走ちずこさになったので客車 な走ちずこさになったので客車

支湯長曹遠青 去る二十 順要素部事用少佐の手により二十 順要素部事用少佐の手により二十 原要素部事用少佐の手により二十

電話七五〇四番大連市美濃町二三十九八番 いかが満道裡新城大街十號

草草

the Tasto 中各地名 人情いたしました

界各國酒類 老 ·食料品 百么 夏一、00 0

女子電話係事務員募集

本人來談 十七歳より二十二歳まで

三卜烏下 ネヨ山内 借九四〇三話電 (2 頁八度)

二十多の類草に含むところのニ

·藥用試~

ニコチン量)あれば普通の犬を

附 オセロの栗僧は一覧二十総 東京殿座一ノ七オセロ祥行(最替 東京殿座一ノ七オセロ祥行(最替 東京最近五〇〇三都)へ送金お申込

代的知識を綜合して明期なるマガジンの

トーバデ店樂りあに部品樂

¥ 0.25 0.45 1.00 の眼點式闘自新

ライ

2

野地縣 社會名合置玉

りいたさんものさそれで先生の御に身に整筋を備へ、それを以て立て大いに後悔いたも此上で至って大いに後悔いたも此上の前を離れる事になりました。

正 兵廠の本総をたぐり出て為め、氏 大郎は用意胤飾、斯くさは知られ 総称半兵衛

ありますから警戒せなければなり

政善の効は胃腸補弱作用と共に極なたを主効としますが、その整質

親に心勢と成りますかナ……」れて能学を變へやうと存じますが

心に濟みませんが、

大きないのは、まこととを発生される人に多いのは、まこととを発生される人に多いのは、まこととを発生される人に多いのは、まこととを発生される人に多いのは、まこととを表してある。 これを表してある。 これを表している。 これをまる これ

を発展に経営は有するオセロの処式 文が別と好食されて来た大器にヒ というなは凝糊の食餌として古来 かったがないと思ひます。

一質公も潜で失策したか措

即ち始か五ミリ瓦(機経一本に含

本地域であるというでは、 一元来動脈硬化や高血腫精力が起きる数が飼いする発酵は主として を防いたりを腹胀を挑進したり を防いたりを腹胀を挑進したり でいるといたのつかりするホルモ の行びが繋ぐるからで、所うし

お人の居つた家であらう」 並人の居つた家であらう」

1、紅茶の動も西とで乗っかれないことがよくあるでせう。緑茶、コーヒとがよくあるでせう。緑茶、コーヒとのまた。

壓血高化硬脈動

先決問題

胃腸の補强が

精力減退の恢復に

は

要素を敢てさせるからです。 関にかゝはらず精力生活に実進の 関にかゝはらず精力生活に実進の が一時的に、凝しい昂葉や激謝を

處女等は誇らかに

よ南流風

よ飛沫

小変色の肢体を躍らせて

維碧の海に登場する

烈日に、

海水に痛み易さ

障はスマイルに護られて

瑠璃の水盤に

浦南

力を減損することは非常なも

人でございますし

今時した如く、酔つて居る間はさぞ先生お困りでございませう

酒=煙草の及ぼす

案内

兵衛を宥めて別室に伴れて來て

衛は奥四郎の慶変を見

は慣い奴だし

用により根據を發してゐるからであります。 まだ他の乗り切つてゐる五十年酸の人々を動態便化、心 の勝とする原因中、八九智は質に斯うした嗜好物の濫 の亢進乃至精(性)力減退などいふ忌まはしい老表現

否々の生理に及ぼす悪影響の恐ろしさはまた決して軽々優値を認められてゐますが、此の嗜好物の過度の常用が 世界を異へる好情の階好物として、それぞれ軍大な存在 何となれば心寒盛んなるべき批年者や年寄と申しても であります。 は上のやうな経営が生態の上に 大きく反映して來るのは影じて 四十過ぎの形ಳ初老年配からで 四十過ぎの形ಳ初老年配からで ありますが、文に際し許々は如い ありますが、文に際し許々は如い ありますが、文に際し許々は如い で表験を防ぎ、動脈をいるで、人生の影響の などとの表

本で、 で三十年といふといい。 一般の影響を受けてある皆ですから 大眼睛を動し、 をいるとのですから 大眼睛を動り緩縮な衰弱を呈して 本の影響を受けてある皆ですから 大眼睛を動り緩縮な衰弱を呈して で三十年、五十歳の人

茶一どれも西々の日常生活に慰安と刺戟と

蓄音器修

繕出

ア 天賦の滋養強壮側です。 注明の法養強壮側です。 | 本むし煮燥| 振替大連 大連市信濃町で 宗本店

三 轉 手養成穀備完成灌洲第一 印書
邦文タイン 家 紀の國宝質店大々的貨幣

議

悪比須町一六○西検通り 大進館 医具付短期の御泊りも可 電二九一八六 求間 開静なる間を望む 貸間 下宿にても可 本サ 科御血殺 次四 分 大伊大旅 サ用美率見最河日り 近江神祭記の 等 組 排 後 「本 和 排 サ 後 水原玲子・鈴木勝彦士・ W・Fi式オールサウ 雨の佐太和 がリカン が大人 禁金 スーヴェ 映画奥 坂本 海窩窩外原次記四 總計郡大日 卷計全出監主會間 道山流ん 内 於樣 船 版制素 錢 紙 煮 記 渍 玉 渍 科眼斯のき向人代近

映す珠玉の明眸

